第 13 巻　平成 18 年度

ハートライフ病院年報

ANNUAL REPORT OF HEART LIFE HOSPITAL
OKINAWA,JAPAN
VOL.13　2006

医療法人かりゆし会

ハートライフ病院の理念

わたしたちは心と心を結ぶ

信頼される医療をめざします

基本方針

１．急性期医療　→　質の高いチーム医療
２．地域完結型医療　→　地域保健・医療・福祉施設との連携
３．救急医療（24 時間二次救急）
４．がんの予防・治療をもって沖縄県民に貢献する
５．研修教育病院
６．健全な医療経営

患者様の権利

１．あなたは必要な医療が受けられます。
２．あなたは病気とその検査及び治療についての納得のいく説明を受けることができ、その上で適切な医療を選ぶことができます。
３．さらに、他医師（当院及び他院）の意見を聞くことができます。
４．研究段階にある治療について主治医から提案されたり、ご自身が希望される場合、資料に基づいて十分説明を受け納得し、共同の責任で治療を選ぶことができます。
５．医療における個人の情報は保護されます。
６．自分の診療情報（カルテ）の開示を求めることができます。

病　院　概　要【平成 19 年 4 月 1 日】

病　院　名	特定・特別医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
所　在　地	〒901-2492　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電 話 番 号	098-895-3255（代表）　098-895-2534（ＦＡＸ）

理　事　長	安里　哲好	救急総合診療部長	與座　一
院　　長	奥島　憲彦	外科部長兼医局長	西原　実
副　院　長	松元　悟	医療技術部長	比嘉　一廣
副　院　長	久場　良也	看 護 部 長	西銘　宣子
副　院　長	佐久川　廣	事 務 部 長	宮良　長男
副　院　長	古謝　靜男		

病　床　数	300 床（開放病床　22 床）
看 護 体 系	10：１看護
診 療 科 目	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・小児科 外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・肛門科・麻酔科 産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科 ・メディカルサービスセンター（人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診） ・人工透析センター（昼間・夜間） ・内視鏡センター　　・糖尿病センター ２４時間救急指定病院【内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器科】
診 療 時 間 （月～土）	午前 9：00　～　12：00 午後 2：00　～　5：00　（土曜日除く）
休　診　日	日曜日・祝日・土曜日午後

医師卒後臨床研修指定病院　　日本医療機能評価機構認定病院

当院指定医療一覧

①労働者災害補償保険指定医療機関
②妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
③母体保護法指定医療機関
④結核予防法指定医療機関
⑤生活保護法指定医療機関
⑥戦傷病者特別援護法指定医療機関
⑦指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
⑧指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《耳鼻咽喉科に関する医療》
⑨原爆医療法指定医療機関
⑩指定自立支援医療機関（精神通院医療）
《てんかん》
⑪母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
⑫特定疾患治療研究事業指定医療機関
⑬小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
⑭指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》

施 設 認 定 一 覧

①日本整形外科学会　沖縄県　第 0014 号
整形外科認定医研修施設

②日 本 外 科 学 会　第 470008 号
日本外科学会外科専門医制度修練施設

③日本消化器外科学会　第 47007 号
日本消化器外科学会専門医修練施設

④日本消化器内視鏡学会　第 14035 号
日本消化器内視鏡学会認定指導施設

⑤日本循環器学会　第 9287 号
循環器専門医研修関連施設

⑥日本麻酔科学会　第 773 号
日本麻酔科学会認定麻酔研修指導病院

⑦日本産婦人科学会　第 470005 号
日本産婦人科学会卒後研修指導病院

⑧日 本 内 科 学 会　第 830 号
日本内科学会認定医制度教育病院

⑨日本泌尿器科学会　第 980061 号
日本泌尿器科専門医教育病院

⑩日 本 透 析 学 会　第 314 号
日本透析医学会認定教育関連施設

⑪日本糖尿病学会　第 512 号
日本糖尿病学会認定教育施設

⑫日本脳神経外科学会　第Ｃ－2210 号
日本脳神経外科学会専門医認定訓練施設

⑬日本臨床細胞学会　第 440 号
日本臨床細胞学会施設認定

⑭日 本 眼 科 学 会　第 2631 号
日本眼科学会専門医制度研修施設認定

⑮日 本 病 理 学 会　第 7053 号
日本病理学会登録施設

⑯日本東洋医学会　第 04-8059 号
日本東洋医学会研修施設

⑰日本静脈経腸栄養学会　第 01347001 号
日本静脈経腸栄養学会・NST 稼動施設認定

⑱日本周産期・新生児医学会　第 PC47007 号
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度暫定研修施設

⑲日本消化器病学会　第 47011 号
日本消化器病学会専門医制度認定施設

⑳厚 生 労 働 省　第 1030005 号
臨床研修指定病院

㉑日本医療機能評価機構　第ＧＢ97－2 号
日本医療機能評価機構認定病院

病　院　沿　革【2006 年 4 月～2007 年 3 月】

年　　月	施　設　認　定　等
2006 年（平成 18 年）	
４月	卒後臨床研修医５名採用
	頭頚部腫瘍センターオープン
	２階医局改修工事開始
	DPC 対象病院
６月	救急救命士による薬剤投与実習受入開始
	中城地区地滑り住民に対する「健康相談」
	敷地内完全禁煙施設
	小児入院管理料（３）算定
7 月	敷地内禁煙実施施設認定（中部福祉保健所）
8 月	ニコチン依存症管理加算
10 月	遺体搬送委託業者変更　AP センター　⇒　拓商、アピアランス
	県防災課主催の「総合防災訓練」へ参加
11 月	第１３回　院内研究発表会　～病気を診ずして患者を診よ！～
	特別記念講演：ターミナル期におけるアロマセラピー
12 月	救急救命士による気管挿管病院実習（県内第１号）
2007 年（平成 19 年）	
3 月	卒後臨床研修医第２期生終了　５名

ハートライフ病院職員数【平成 19 年 3 月 1 日】

職　　種	人　　数	職　　種	人　　数
常勤医師	５８	理学療法士	8
非常勤医師	４５	作業療法士	3
助産師	9	言語療法士	1
看護師	２４６	薬剤師	１１
准看護師	４３	診療放射線技師	１６
看護助手	４０	管理栄養士	5
クラーク	9	調理師	１２
臨床工学士	9	事務	９０
臨床検査技師	２６	ケースワーカー	3
衛生検査技師	1	施設技術者	3
視能訓練士	1	その他	４４
ＯＭＡ	2	合計	６８５

ハートライフ病院　医師診療科目・専門分野一覧

【平成１９年４月１日現在】

診療科目	医師名	大学卒	担当分野	指導医・専門医・認定医
内　科	安里　哲好	昭和 52 年卒	循環器内科 生活習慣病	日本内科学会認定医　日本内科学会専門医　日本内科学会指導医 日本透析医学会認定医　日本循環器学会専門医　日本医師会認定産業医
	與座　一	昭和 58 年卒	循環器内科	
	島袋　敏秀	昭和 63 年卒	循環器内科	日本医師会認定産業医
	比嘉　良夫	平成 2 年卒	消化器内科	日本内科学会認定医　日本内科学会指導医　日本消化器内視鏡学会認定医
	山本　壽一	昭和 63 年卒	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会認定医　日本内科学会専門医　日本内科学会指導医 日本糖尿病学会専門医　日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医　日本内分泌学会内分泌代謝科専門医
	普天間　光彦	平成 3 年卒	呼吸器内科	
	折田　均	平成 2 年卒	消化器内科	日本内科学会認定医　日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医
	比嘉　昌文	昭和 60 年卒	消化器内科	日本消化器内視鏡学会認定医　日本消化器集団検診学会認定医 ＴＨＰ健康測定医　日本医師会認定産業医　人間ドック認定指定医
	毛利　貴子	平成 9 年卒	糖尿病	日本内科学会認定医　日本内科学会専門医
	平良　直也	平成元年卒	血液内科	日本内科学会認定医　日本血液学会専門医
	宮里　稔	昭和 62 年卒	消化器内視鏡	日本消化器内視鏡学会認定医
	佐久川　廣	昭和 56 年卒	消化器内科	日本内科学会認定医　日本内科学会専門医　日本内科学会指導医 日本消化器病学会認定医　日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会認定医　日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器集団検診学会認定医　日本消化器集団検診学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
	郷　克己	昭和 60 年卒	消化器内科	日本消化器外科学会認定医
	井上　卓	平成 2 年卒	循環器内科	日本内科学会認定医　日本内科学会指導医　日本循環器学会専門医 日本透析療法学会認定医　日本医師会認定産業医
	仲吉　朝邦	昭和 62 年卒	消化器内科	日本内科学会認定医　日本肝臓学会専門医　日本消化器内視鏡学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医　日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器病学会認定医　日本消化器病学会専門医
	大須賀　康高		一般内科	
	仲地　佐和子	平成 11 年卒	血液内科	日本内科学会認定医
	原　真紀子	平成 15 年卒	呼吸器内科	
	當間　智	平成 14 年卒	一般内科	
	椎津　敏明	平成 16 年卒	一般内科	
外　科	奥島　憲彦	昭和 54 年卒	外科 内視鏡治療	日本外科学会認定医　日本外科学会専門医　日本外科学会指導医 日本消化器外科学会認定医　日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会認定医　日本消化器内視鏡学会指導医 日本医師会認定健康スポーツ医　日本医師会認定産業医 日本体育協会公認スポーツドクター
	西原　実	昭和 63 年卒	消化器外科 肝胆膵外科	日本外科学会認定医　　日本外科学会専門医

診療科目	医師名	大学卒	担当分野	指導医・専門医・認定医
外　科	宮平　工	平成 2 年卒	消化器外科	日本外科学会認定医　日本外科学会専門医　日本消化器病専門医 日本消化器外科学会認定医　日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
	與那覇　佳子	昭和 59 年卒	その他 （予防医学）	日本消化器集団検診学会認定医　日本医師会認定産業医 日本医師学会認定健康スポーツ医
	花城　直次	平成元年卒	消化器外科	日本外科学会認定医
	西垣　大志	平成 13 年卒	消化器外科	日本消化器外科学会認定医
	松浦　文昭	平成 15 年卒	一般外科	
	照屋　なつき	平成 17 年卒	一般外科	
整形外科	松元　悟	昭和 55 年卒	整形外科	日本整形外科学会専門医　日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医　日本整形学会リウマチ医
	新垣　勝男	平成 2 年卒	整形外科	日本整形外科学会脊椎脊髄病医　日本脊椎脊髄病学会指導医
	渡慶次　学	平成 4 年卒	整形外科	日本整形外科学会専門医
	松田　英敏	平成 15 年卒	整形外科	
脳神経外科	末吉　健次	平成 4 年卒	脳神経外科	日本脳神経外科学会専門医
	上笹　航	平成 10 年卒	脳神経外科	日本脳神経外科学会専門医
小児科	知名　耕一郎	平成元年卒	小児科	日本小児科学会認定医　日本小児科学会専門医
	安藤　美恵	平成 13 年卒	小児科	
産婦人科	多久島　康司	平成元年卒	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医　日本東洋医学会専門医 日本東洋医学会指導医　母体保護法指定医
	髙山　尚子	平成 8 年卒	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医　　母体保護法指定医
眼科	比嘉　明子	平成 11 年卒	眼科	日本眼科学会専門医
	富山　浩志		眼科	
泌尿器科	嘉川　春生	平成 3 年卒	泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医　　日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
耳鼻咽喉科	古謝　静男	昭和 56 年卒	耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
	幸地　綾子	平成 5 年卒	耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医
	山下　懐	平成 12 年卒	耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医
麻酔科	久場　良也	昭和 54 年卒	麻酔科	日本麻酔科学会指導医 日本麻酔科学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
放射線科	高良　誠	平成 6 年卒	放射線科	日本医学放射線学会専門医
研修医	石野　信一郎	平成 18 年卒	研修医	
	佐久川　陽子	平成 18 年卒	研修医	
	釜野　武志	平成 18 年卒	研修医	
	村田　勝一郎	平成 18 年卒	研修医	
	内海　大介	平成 18 年卒	研修医	
	穴井　論	平成 19 年卒	研修医	
	河合　陽	平成 19 年卒	研修医	
	崎原　徹裕	平成 19 年卒	研修医	
	林　由希子	平成 19 年卒	研修医	

年毎　外来1日平均患者数　(稼動)

(統計：病院報告より)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
昭和63年度					25.1	41.4	55.9	64.1	72.6	80.7	93.6	105.6	539.0	134.7
平成1年度	111.2	114.0	109.6	118.2	119.4	139.5	141.4	141.2	149.4	207.8	171.6	183.8	1,707.1	142.3
平成2年度	165.4	194.7	200.7	222.1	217.8	218.8	218.6	236.0	239.8	243.3	238.0	256.0	2,651.2	220.9
平成3年度	257.4	285.7	270.3	287.1	274.3	292.3	320.4	340.3	408.8	405.5	389.5	437.0	3,968.6	330.7
平成4年度	440.3	465.4	451.1	443.8	427.5	459.5	469.5	485.0	482.6	529.6	491.0	480.6	5,625.9	468.8
平成5年度	466.0	489.9	480.6	487.0	479.5	504.1	495.4	492.0	501.5	502.9	511.5	536.8	5,947.2	495.6
平成6年度	542.5	536.8	520.6	512.0	504.4	539.0	537.7	556.1	541.4	614.7	546.0	563.1	6,514.3	542.9
平成7年度	532.6	544.1	529.0	537.1	521.4	549.8	548.9	561.1	549.1	550.2	559.7	530.9	6,513.9	542.8
平成8年度	521.0	563.1	566.9	570.1	539.3	572.6	554.9	590.7	672.7	637.0	613.3	596.7	6,998.3	583.2
平成9年度	572.2	573.6	587.6	608.3	600.6	635.0	628.4	646.8	638.4	625.7	654.3	652.8	7,423.7	618.6
平成10年度	615.6	621.0	606.3	628.4	625.5	614.6	600.6	631.2	653.5	712.1	663.8.	659.7	6,968.5	580.7
平成11年度	655.7	635.3	599.8	624.5	604.6	620.0	622.3	638.0	631.4	729.7	659.5	667.3	7,688.1	640.7
平成12年度	674.8	700.9	646.0	663.0	641.5	699.1	690.3	690.6	701.1	684.5	683.0	701.3	8,176.0	681.3
平成13年度	708.8	709.8	675.9	689.5	681.0	652.2	678.2	711.3	710.5	732.7	702.0	674.6	8,326.3	693.9
平成14年度	665.2	675.7	627.4	642.8	607.0	622.9	623.3	634.5	649.1	700.7	637.1	609.6	7,695.3	641.3
平成15年度	577.7	574.6	555.7	590.8	542.1	594.8	590.4	604.5	611.1	603.9	613.3	588.1	7,047.0	587.3
平成16年度	593.6	595.7	567.3	594.8	555.2	568.8	551.0	586.7	573.5	545.0	507.2	545.0	6783.8	565.3
平成17年度	481.5	499.8	480.2	517.2	494.8	516.6	516.4	536.6	547.6	533.6	532.3	532.8	6189.4	515.8
平成18年度	522.3	540.7	522.1	527.8	518.4	549.8	536.9	533.6	543.9	523.7	528.3	509.0	6356.5	529.7

救 急 搬 送 件 数

（統計：病院報告より）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
昭和63年度		0	0	0	0	1	1	1	5	2	2	3	0	15	1.3
平成1年度		2	4	0	3	0	12	26	26	45	44	36	32	230	19.2
平成2年度		45	43	48	29	58	38	41	52	45	50	43	55	547	45.6
平成3年度	搬送人数	41	54	45	52	58	42	55	50	42	43	60	55	597	49.8
	内入院数			11	19	17	14	19	25	11	17	16	31	180	15.0
平成4年度	搬送人数	58	69	54	57	60	55	54	57	74	89	63	78	768	64.0
	内入院数	16	25	20	16	28	19	14	15	21	19	26	34	253	21.1
平成5年度	搬送人数	59	74	49	71	65	51	63	65	104	70	74	79	824	68.7
	内入院数	21	22	17	27	28	24	22	28	34	29	17	28	297	24.8
平成6年度	搬送人数	89	80	96	89	94	77	78	92	88	104	84	75	1046	87.2
	内入院数	29	29	25	38	29	29	31	31	28	38	27	21	355	29.6
平成7年度	搬送人数	89	92	84	103	86	76	68	80	87	73	96	81	1015	84.6
	内入院数	19	32	28	35	25	33	31	35	44	31	34	47	394	32.8
平成8年度	搬送人数	79	77	84	87	99	97	69	91	111	116	108	103	1121	93.4
	内入院数	33	35	39	35	47	36	28	39	50	53	45	37	477	39.8
平成9年度	搬送人数	75	95	78	79	78	84	90	87	108	111	108	130	1123	93.6
	内入院数	30	35	36	35	32	34	49	36	52	51	57	61	508	42.3
平成10年度	搬送人数	127	97	109	90	118	103	92	96	108	167	128	122	1357	113.1
	内入院数	58	46	49	38	52	50	37	43	54	81	51	51	610	50.8
平成11年度	搬送件数										127	129	116	372	31.0
	搬送人数	133	111	89	105	112	113	116	102	117	134	138	119	1389	115.8
	内入院数	66	48	40	54	51	58	57	54	61	56	52	60	657	54.8
平成12年度	搬送件数	115	119	105	95	107	97	107	107	125	116	104	135	1332	111.0
	搬送人数	120	126	105	109	107	102	112	117	128	118	109	141	1394	116.2
	内入院数	48	50	47	41	53	49	41	59	57	64	52	64	625	52.1
平成13年度	搬送件数	121	127	102	119	107	105	83	128	121	103	113	108	1337	111.4
	搬送人数	123	136	106	124	116	106	90	137	129	108	117	109	1401	116.8
	内入院数	58	64	57	56	48	53	43	72	55	56	67	44	673	56.1

救 急 搬 送 件 数

（統計：病院報告より）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
平成14年度	搬送件数	118	106	116	121	113	120	135	101	126	148	133	130	1467	122.3
	搬送人数	120	115	118	124	116	120	139	102	133	151	135	133	1506	125.5
	内入院数	64	50	68	55	56	72	79	56	76	67	62	81	786	65.5
平成15年度	搬送件数	97	104	94	118	115	115	84	103	135	136	153	134	1388	115.7
	搬送人数	104	111	94	123	118	116	84	104	135	137	156	138	1420	118.3
	内入院数	49	52	44	59	57	51	48	55	70	72	79	74	710	59.2
平成16年度	搬送件数	136	152	160	189	169	154	175	147	178	186	179	217	2042	170.2
	搬送人数	139	157	161	191	174	163	180	149	178	192	181	221	2086	173.8
	内入院数	76	84	92	104	104	77	80	79	108	107	106	113	1130	94.2
平成17年度	搬送件数	166	162	173	184	186	147	174	159	215	180	179	180	2105	175.4
	搬送人数	172	167	175	188	189	150	176	162	217	183	182	186	2147	178.9
	内入院数	85	86	94	106	109	78	99	85	130	92	99	92	1155	96.3
平成18年度	搬送件数	172	168	197	228	205	210	198	174	207	214	204	203	2380	198.3
	搬送人数	173	170	200	234	208	213	203	176	209	216	205	206	2413	201.1
	内入院数	89	87	92	95	91	102	90	76	102	103	92	81	1100	91.7

年毎　入院1日平均患者数　(稼動)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
昭和63年度	• 0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	20.5	33.7	44.9	53.6	50.7	66.4	84.7	362.7	32.8
平成1年度	88.3	87.9	93.0	101.0	103.4	112.6	118.8	112.8	119.2	122.4	127.2	124.6	1,311.2	109.3
平成2年度	125.1	136.0	139.0	137.5	132.4	122.9	133.2	129.3	132.4	131.4	140.1	137.0	1,596.3	133.0
平成3年度	134.8	136.1	133.7	163.2	173.6	177.0	167.8	177.4	178.8	193.6	199.2	202.3	2,037.5	169.8
平成4年度	221.7	233.6	223.1	232.7	234.2	226.7	225.4	234.2	222.4	229.0	254.5	240.7	2,778.2	231.5
平成5年度	245.0	237.6	249.7	251.8	245.2	236.5	243.3	238.4	245.4	249.4	259.6	254.9	2,956.8	246.4
平成6年度	269.3	264.6	262.4	276.6	271.3	266.2	256.1	266.5	264.6	265.0	283.0	280.2	3,225.8	268.8
平成7年度	268.3	255.5	272.6	280.1	282.3	275.4	274.8	273.0	272.5	284.8	292.6	289.2	3,321.1	276.8
平成8年度	279.9	287.0	291.9	292.3	275.0	284.0	276.7	275.2	286.4	290.8	289.9	289.1	3,418.2	284.9
平成9年度	280.8	281.8	288.5	289.8	282.1	288.2	287.0	279.0	267.1	277.6	290.1	294.7	3,406.7	283.9
平成10年度	287.0	278.7	286.1	284.6	276.8	265.0	270.8	253.2	246.7	282.8	291.7	277.8	3,301.2	275.1
平成11年度	264.3	262.4	254.4	270.3	265.5	268.1	271.4	262.9	251.7	280.9	287.0	284.4	3,223.3	268.6
平成12年度	292.8	282.0	290.1	277.9	274.6	273.5	272.4	274.0	257.7	272.2	278.3	282.6	3,328.1	277.3
平成13年度	283.4	270.7	285.8	285.9	275.3	257.8	264.1	259.3	266.9	273.2	267.3	282.9	3,272.7	272.7
平成14年度	271.5	257.5	272.7	269.1	266.5	277.8	278.3	275.6	276.3	291.0	302.3	282.3	3,320.9	276.7
平成15年度	266.6	261.6	262.9	284.7	279.0	284.2	282.1	278.0	270.8	278.1	295.4	297.0	3,340.4	278.4
平成16年度	290.7	277.7	280.6	285.0	283.8	281.0	271.0	271.3	269.6	278.6	286.9	299.0	3,375.2	281.3
平成17年度	293.3	266.7	283.7	279.9	284.0	266.5	277.3	277.4	263.6	263.0	279.7	290.8	3,325.9	277.2
平成18年度	275.5	262.1	266.7	274.8	262.7	277.1	270.5	262.5	257.6	254.6	275.6	268.6	3,375.2	281.3

平成18年度　退院患者疾病別（病態）分類

ICD-10大項目分類	性別	内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産婦人科（産科）	産婦人科（婦人科）	総 計
Ⅰ.感染症および寄生虫症（A00-B99）	男	98	12						40			150
	女	141	11	1	3	1		3	18		2	180
	計	239	23	1	3	1		3	58		2	330
Ⅱ.新生物（C00-D48）	男	112	130	21	6	10	1	47				327
	女	83	94	6	5	2	2	17			76	285
	計	195	224	27	11	12	3	64			76	612
Ⅲ.血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（D50-D89）	男	11	2						2			15
	女	10	2								2	14
	計	21	4						2		2	29
Ⅳ.内分泌、栄養および代謝疾患　（E00-E90）	男	118	6		1		1					126
	女	126	10	1	2			1	1			141
	計	244	16	1	3		1	1	1			267
Ⅴ.精神および行動の障害（F00-F99）	男	4										4
	女	19	2	1		1						23
	計	23	2	1		1						27
Ⅵ.神経系の疾患（G00-G99）	男	83	4	1	2	4		11				105
	女	44	3		7	11		5			1	71
	計	127	7	1	9	15		16			1	176
Ⅶ.眼および付属器の疾患（H00-H59）	男						56					56
	女						60					60
	計						116					116
Ⅷ.耳および乳様突起の疾患　（H60-H95）	男	9						23	11			43
	女	25				1		33	3			62
	計	34				1		56	14			105
Ⅸ.循環器系の疾患（I00-I99）	男	328	31	1	1	65						426
	女	269	26	1	2	42						340
	計	597	57	2	3	107						766
Ⅹ.呼吸器系の疾患（J00-J99）	男	330	13	1	1			46	195			586
	女	292	3		3			23	164			485
	計	622	16	1	4			69	359			1,071

平成18年度　退院患者疾病別（病態）分類

ICD-10大項目分類	性別	内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産婦人科（産科）	産婦人科（婦人科）	総 計
XI.消化器系の疾患（K00-K93）	男	371	237	1	2			4	2			617
	女	248	167		2			2	3		1	423
	計	619	404	1	4			6	5		1	1,040
XII.皮膚および皮下組織の疾患　（L00-L99）	男	11	20		13			4	3			51
	女	11	11		8			4	2			36
	計	22	31		21			8	5			87
XIII.骨格筋系および結合組織の疾患　（M00-M99）	男	11	3	1	87	1			1			104
	女	21	2		88		1		1			113
	計	32	5	1	175	1	1		2			217
XIV.尿路性器系の疾患（N00-N99）	男	56	8	51					3			118
	女	172	3	27					5		59	266
	計	228	11	78					8		59	384
XV.妊娠、分娩および産じょく＜褥＞　（O00-O99）	女	3								384		387
	計	3								384		387
XVI.周産期に発生した病態（P00-P96）	男								4			4
	女								1			1
	計								5			5
XVII.先天奇形、変形および染色体異常（Q00-Q99）	男		1		1	2		2				6
	女							2				2
	計		1		1	2		4				8
XVIII.症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）	男	15	11	2	1			1	2			32
	女	22	11		3				2			38
	計	37	22	2	4			1	4			70
XIX.損傷、中毒およびその他の外因の影響（S00-T98）	男	45	45	8	147	34	2	6	3			290
	女	48	35	3	171	17	3				1	278
	計	93	80	11	318	51	5	6	3		1	568
XXI.健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用（Z00-Z99）	男	71	77	2	21	2		2	133			308
	女	56	30		7	2			123		13	231
	計	127	107	2	28	4		2	256		13	539
総　　計		3,263	1,010	129	584	195	126	236	722	384	155	6,804

平成18年度　外科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K0002	創傷処理（筋肉、臓器に達する）　長径５cm以上１０cm未満	1
K0003	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径１０cm以上	1
K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径５cm未満	2
K0005	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）　長径５cm以上１０cm未満	1
K0006	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径１０cm以上	2
K0011	皮膚切開術（長径１０cm未満）	1
K0012	皮膚切開術（長径１０cm以上２０cm未満）	1
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径２cm未満	11
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）　長径２cm以上４cm未満	2
K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径４cm以上	3
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径３cm未満	25
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）　長径３cm以上６cm未満	10
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径６cm以上	6
K017	遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付き）	1
K020	自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付き）	2
K0912	陥入爪手術（爪床爪母の形成を伴う複雑）	1
K386	気管切開術	2
K462	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	1
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	1
K4641	上皮小体腺腫過形成手術（上皮小体摘出術）	2
K4741	乳腺腫瘍摘出術（内視鏡下によるものを含む）（長径５cm未満）	4
K4742	乳腺腫瘍摘出術（内視鏡下によるものを含む）（長径５cm以上）	1
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの）（内視鏡下によるものを含む	2
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（胸筋切除を併施しない）	1
K513	胸腔鏡下肺切除術	3
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術　リンパ節郭清を伴うもの	1
K522-2	食道ステント留置術	1
K5241	食道憩室切除術（頸部手術）	1
K5262	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）	1
K526-2	早期食道悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術	5
K5291	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）（胸腔鏡下によるもの	4
K5292	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）	1
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置　（頭頸部その他）	9
K6183	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	6
K6261	リンパ節摘出術（長径３cm未満）	14
K6262	リンパ節摘出術（長径３cm以上）	6
K6273	リンパ節群郭清術（鎖骨上窩及び下窩）	1
K6277	リンパ節群郭清術（後腹膜）	3
K6312	腹壁瘻手術（腹腔に通ずる）	1
K6331	腹壁瘢痕ヘルニア手術	6
K6335	鼠径ヘルニア手術	53
K6371	限局性腹腔膿瘍手術（横隔膜下膿瘍）	2
K639	急性汎発性腹膜炎手術	6
K6421	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わない）	1
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1
K647	胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）	2
K654-2	胃局所切除術	1
K6551	胃切除術（腹腔鏡（補助））（単純切除術）	3
K6552	胃切除術（腹腔鏡（補助））（悪性腫瘍手術）	5
K655-22	腹腔鏡下胃切除術　悪性腫瘍手術	1
K6572	胃全摘術（腹腔鏡（補助））（悪性腫瘍手術）	5
K662	胃腸吻合術	2
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む）	60
K6711	胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）	3
K6712	胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含まない）	1
K671-21	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）	3

KCODE	TMNAME	
K672	胆嚢摘除術（開腹）	15
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	88
K680	総胆管胃（腸）吻合術	1
K6871	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）	2
K692-2	腹腔鏡下肝嚢胞切開術	2
K6952	肝切除術（区域切除）	3
K6953	肝切除術（葉切除）	2
K6954	肝切除術（拡大葉切除）	1
K6955	肝切除術（拡大葉切除に血行再建を併せ行う）	1
K697-3	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）	2
K698	急性膵炎手術	1
K7021	膵体尾部腫瘍切除術（膵尾側切除術）腫瘍摘出術を含む	2
K7022	膵体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）	1
K7033	膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	1
K711	脾摘出術	2
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	1
K7151	腸重積症整復術（非観血的）	1
K7161	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	5
K716-2	腹腔鏡下小腸切除術	4
K718	虫垂切除術	11
K718-2	腹腔鏡下虫垂切除術	12
K7191	結腸切除術（小範囲切除）	1
K7192	結腸切除術（結腸半側切除）	5
K719-2	腹腔鏡下結腸切除術	2
K7193	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術（腹腔鏡（補助）下によるものを含む）	13
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	7
K726	人工肛門造設術	8
K7291	腸閉鎖症手術（腸管切除を伴わない）	1
K7322	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）	5
K7391	直腸腫瘍摘出術（経肛門）	7
K7392	直腸腫瘍摘出術（経括約筋）	1
K7401	直腸切除・切断術（切除術）（腹腔鏡下によるものを含む）	1
K7402	直腸切除・切断術（低位前方切除術）（内視鏡下によるものを含む）	3
K7403	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門的結腸嚢肛門吻合）	5
K7404	直腸切除・切断術（切断術）	3
K7421	直腸脱手術（経肛門）	2
K7423	直腸脱手術（骨盤底形成）	1
K7432	痔核手術（脱肛を含む）　硬化療法（四段階注射法によるもの）	1
K7434	痔核手術（根治手術）	33
K744	肛門潰瘍根治手術	5
K745	肛門周囲膿瘍切開術	1
K7461	痔瘻根治手術（単純）	7
K7462	痔瘻根治手術（複雑）	20
K747	肛門ポリープ切除術	3
K7501	肛門括約筋形成手術（縫縮）	2
K7502	肛門括約筋形成手術（組織置換）	1
K7521	肛門形成手術（肛門狭窄形成手術）	3
K7522	肛門形成手術（直腸粘膜脱形成手術）	1
K753	毛巣洞根本手術	3
K756	副腎悪性腫瘍手術	1
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	2
K804	尿膜管摘出術	1
	外科　計	603

平成18年度　脳外科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径５cm未満	1
K0005	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径５cm以上１０cm未満	2
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径２cm未満	1
K016	動脈（皮）弁術	1
K145	穿頭術後脳室ドレナージ	10
K147	穿頭術（トレパナチオン）	7
K149	減圧開頭術	1
K150	脳膿瘍排膿術	2
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	2
K1642	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）	6
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	18
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	1
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他のもの）	5
K171	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	2
K1742	水頭症手術（シャント手術）	1
K174-2	髄液シャント抜去術	1
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（１箇所）	9
K1801	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	4
	開頭血腫除去	1
	脳外科　計	75

平成18年度　整形外科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K0001	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径５cm未満	3
K0002	創傷処理（筋肉、臓器に達する）　長径５cm以上１０cm未満	1
K0003	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径１０cm以上	1
K0004	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径５cm未満	1
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径２cm未満	2
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径３cm未満	1
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）　長径３cm以上６cm未満	5
K014	皮膚移植術	1
K0151	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（２５cm2未満）	1
K0272	筋炎手術（その他の筋）	1
K028	腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	34
K029	筋肉内異物摘出術	1
K0302	四肢軟部腫瘍摘出術（手）	2
K035	腱剥離術（関節鏡下によるものを含む）	2
K035-2	腱滑膜切除術	2
K037	腱縫合術（指）	7
K037-2	アキレス腱断裂手術	3
K0401	腱移行術（指）	2
K0433	骨掻爬術（足その他）	1
K0452	骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	1
K0453	骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	3
K0461	骨折観血的手術（大腿）	41
K0461	骨折観血的手術（上腕）	5
K0462	骨折観血的手術（手舟状骨）	1
K0462	骨折観血的手術（下腿）	6
K0462	骨折観血的手術（前腕）	16
K0463	骨折観血的手術（手（舟状骨を除く））	6
K0463	骨折観血的手術（鎖骨）	5
K0463	骨折観血的手術（指）	12
K0463	骨折観血的手術（膝蓋骨）	3

KCODE	TMNAME	
K0463	骨折観血的手術（足）	2
K0481	骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	6
K0481	骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	3
K0482	骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	4
K0482	骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	7
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（手）	2
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	2
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（足）	1
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	1
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（指）	1
K0492	骨部分切除術（前腕）	1
K0493	骨部分切除術（膝蓋骨）	1
K0493	骨部分切除術（指）	1
K0493	骨部分切除術（足）	1
K0503	腐骨摘出術（足その他）	1
K0521	骨腫瘍切除術（大腿）	1
K0523	骨腫瘍切除術（指）	1
K0543	骨切り術（指）	1
K0591	骨移植術（自家骨移植）	20
K0632	関節脱臼観血的整復術（手）	1
K0632	関節脱臼観血的整復術（肘）	1
K0633	関節脱臼観血的整復術（肩鎖）	2
K0652	関節内異物（挿入物）除去術（足）	2
K0652	関節内異物（挿入物）除去術（肘）	1
K0653	関節内異物（挿入物）除去術（肩鎖）	1
K0661	関節滑膜切除術（膝）	1
K066-21	関節滑膜切除術（関節鏡下）肩、股、膝	4
K0663	関節滑膜切除術（指）	1
K0671	関節鼠摘出手術（膝）	1
K068-2	半月板切除術（関節鏡下）	2
K0701	ガングリオン摘出術（指）	1
K0701	ガングリオン摘出術（手）	1
K0731	関節内骨折観血的手術（肩）	2
K0731	関節内骨折観血的手術（膝）	1
K0732	関節内骨折観血的手術（足）	6
K0732	関節内骨折観血的手術（手）	5
K0732	関節内骨折観血的手術（肘）	9
K0733	関節内骨折観血的手術（指）	2
K0743	靭帯断裂縫合術（指）	1
K079-21	靭帯断裂形成手術（関節鏡下）　十字靭帯	1
K0802	関節形成手術（手）	1
K0811	人工骨頭挿入術（股）	20
K0821	人工関節置換術（膝）	10
K0821	人工関節置換術（股）	7
K0842	四肢切断術（下腿）	4
K0842	四肢切断術（大腿）	1
K0843	四肢切断術（指）	2
K0862	断端形成術（軟部形成のみ）（その他）	2
K0912	陥入爪手術（爪床爪母の形成を伴う複雑）	1
K093	手根管開放手術	2
K110-2	第一足指外反症矯正手術	1
K125	骨盤骨折観血的手術（腸骨翼骨折を除く）	1
K1262	脊椎骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（その他）	1
K131	椎弓切除術	15
K132	椎弓形成手術	13
K1342	椎間板ヘルニア切除術（後方摘出術）	12
K1421	脊椎固定術（椎体に達するもの）	2

KCODE	TMNAME	
K1422	脊椎固定術（椎体に達しないもの）	4
K144	体外式脊椎固定術	1
K1821	神経縫合術（指）	5
K1822	神経縫合術（その他）	2
K188	神経剥離術	9
K197	神経移行術	1
	ACL再建術	1
	滑膜切除、半月板部分切除	1
	靭帯縫合、ギプス固定	1
	ＳＣＯＰｅ　滑膜切除	1
	関節鏡（関節めずみ摘出）	1
	左関節鏡視	1
	関節鏡視下・タナ切除術（滑膜）	1
	右膝前十字靭帯形成術	1
	整形外科　計	398

平成18年度　産婦人科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K718-2	腹腔鏡下虫垂切除術	1
K845	処女膜切開術	1
K848	バルトリン腺嚢胞摘出術・造袋術	1
K861	子宮内膜掻爬術	25
K863	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	4
K8654	子宮脱手術（腟壁形成手術及び子宮全摘術）（腟式、腹式）	19
K867	子宮腟部円錐切除術	5
K8721	子宮筋腫核出術（腹式）	1
K8722	腟式子宮筋腫摘出術	1
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫核出術	12
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	1
K877	子宮全摘術	16
K877-2	腹腔鏡下腟式子宮全摘術	8
K879	子宮悪性腫瘍手術	6
K8871	卵巣部分切除術（開腹）	1
K8872	卵巣部分切除術（腹腔鏡）	1
K887-21	卵管結紮術（腟式を含む）（両側）（開腹によるもの）	1
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両）（開腹）	4
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両）（腹腔鏡）	29
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	14
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	30
K9062	子宮頸管縫縮術（シロッカー法）	6
K9091	流産手術	29
K9122	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）	4
	卵管結紮術	1
	子宮内容除去術	17
	子宮内洗浄　腟壁血腫除去術	1
	病巣摘出術	1
	産婦人科　計	240

平成18年度　泌尿器科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K0001	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径５cm未満	1
K0002	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径５cm以上１０cm未満	1
K0003	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径１０cm以上	1
K0011	皮膚切開術（長径１０cm未満）	1
K0151	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（２５cm2未満）	1

KCODE	TMNAME	
K6072	血管結紮術（その他）	5
K610-3	'内シャント設置術	38
K769	腎部分切除術	1
K773	腎（尿管）悪性腫瘍手術	2
K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	2
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	20
K786	尿管膀胱吻合術	1
K7981	膀胱結石摘出術（経尿道的手術）	4
K8036	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）	11
K805	膀胱瘻造設術	1
K816	外尿道腫瘍切除術	1
K821	尿道狭窄内視鏡手術	2
K8271	陰茎悪性腫瘍手術（陰茎切除）	1
K8282	包茎手術（環状切除術）	5
K830	精巣（睾丸）摘出術	3
K8351	陰嚢水腫手術（交通性陰嚢水腫手術）	1
K841	経尿道的前立腺手術	12
K843	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	1
	経直前立腺生検	1
	精巣生検	4
	左上腕表在化	1
	環状切開	1
	経直腸前立腺針生検	3
	パイプカット	1
	死体腎移植ドナー腎摘除（両側）両ドナー角膜摘出	1
	精巣採取（精巣生検）	1
	泌尿器科　計	129

平成18年度　眼科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K200-2	涙点プラグ挿入術	1
K215-2	眼瞼結膜腫瘍手術	1
K2231	結膜嚢形成手術（部分形成）	2
K224	翼状片手術（弁の移植を要する）	18
K241	眼球摘出術	1
K246	角膜強膜縫合術	6
K259	角膜移植術	21
K274	前房、虹彩内異物除去術（マグネットを使用するもの）	1
K279	硝子体切除術（前部）	1
K2821	白内障手術	99
	眼科　計	151

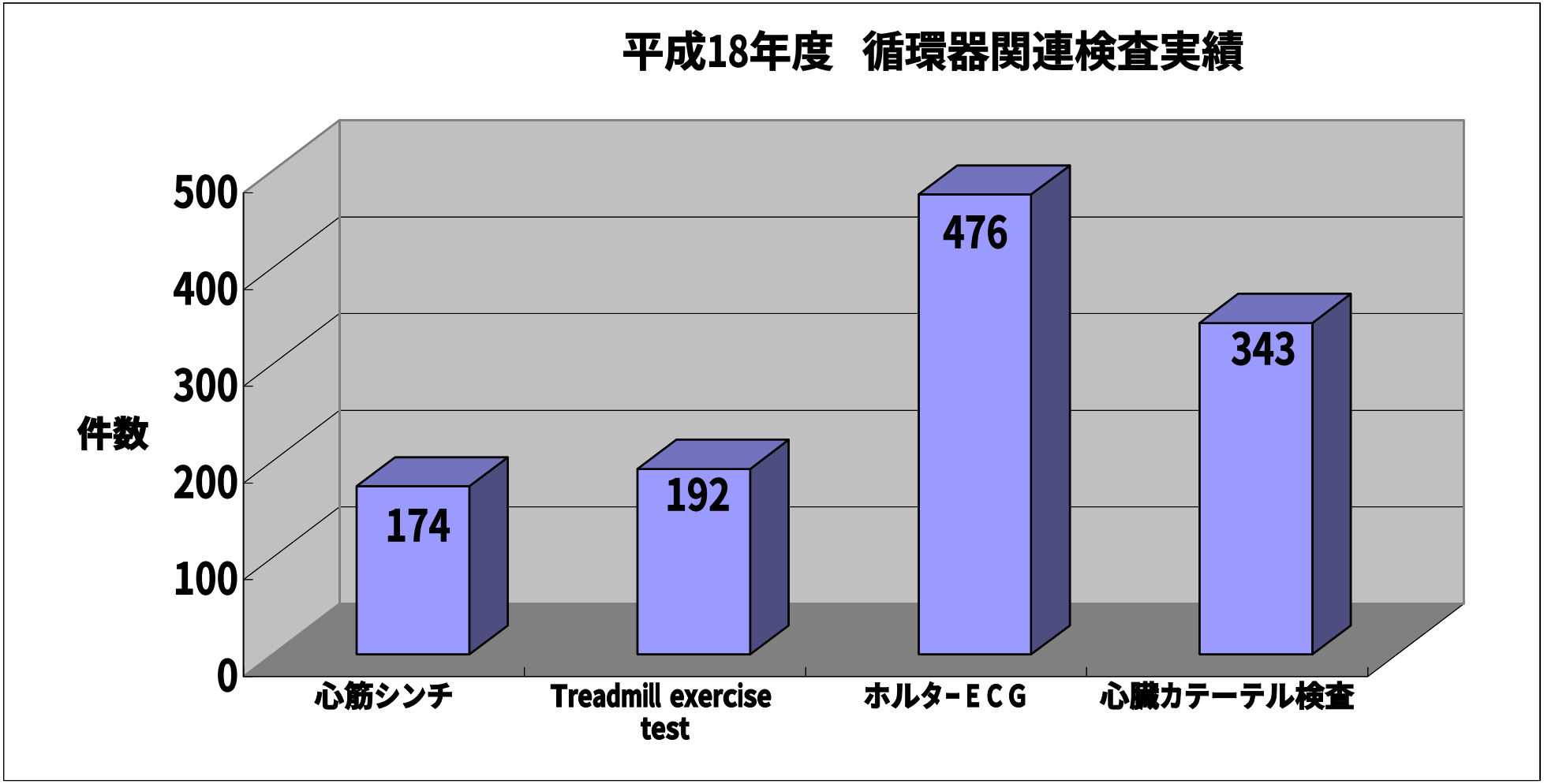
平成18年度　耳鼻咽喉科手術症例（平成18年4月～平成19年3月）

KCODE	TMNAME	
K0002	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径５cm以上１０cm未満	2
K0003	創傷処理（筋肉、臓器に達する）長径１０cm以上	1
K0006	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）長径１０cm以上	1
K0021	デブリードマン1	1
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径２cm未満	3
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）長径２cm以上４cm未満	2
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径３cm以上６cm未満	1
K0132	全層、分層植皮術（露出部・粘膜部・関節部）（２５平方cm以上１００平方cm未満）	2
K0152	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（２５～１００cm2未満）	1
K016	筋（皮）弁術	1

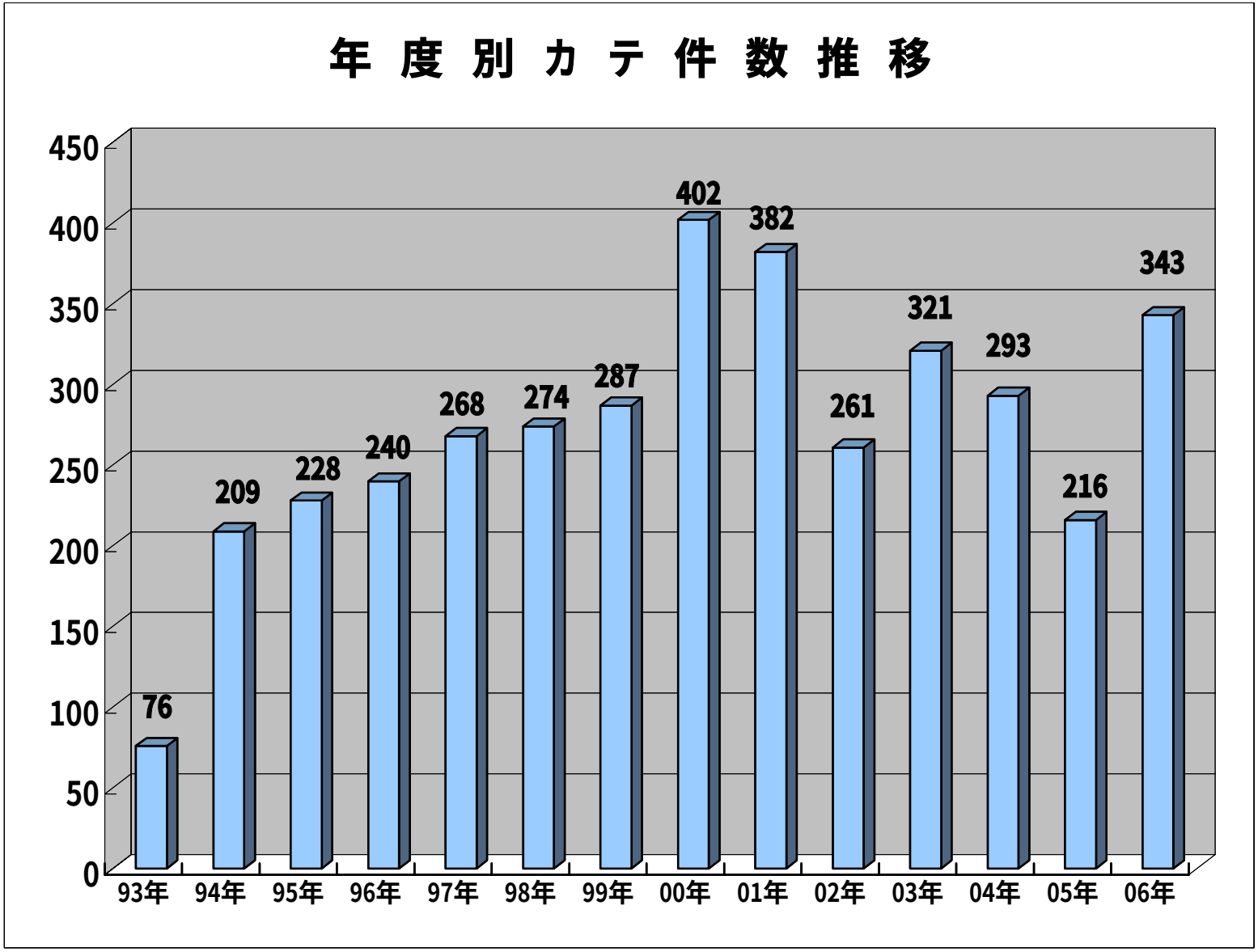
KCODE	TMNAME	
K017	遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付き）	2
K0433	骨掻爬術（足その他）	1
K0612	関節脱臼非観血的整復術（手）	1
K1932	神経腫切除術（その他）	1
K287	先天性耳瘻管摘出術	3
K300	鼓膜切開術	1
K305	乳突削開術	23
K309	鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	6
K318	鼓膜形成手術	4
K319	鼓室形成手術	1
K320	アブミ骨手術（可動化手術）	1
K337	鼻前庭嚢胞摘出術	1
K338	鼻甲介切除術	5
K339	粘膜下下鼻甲介骨切除術	2
K342	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	3
K3431	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（切除）	1
K347	鼻中隔矯正術	4
K349	鼻内上顎洞開窓術	1
K353	鼻内篩骨洞手術	2
K362	上顎洞篩骨洞前頭洞根本手術	2
K370	アデノイド切除術	1
K3731	下咽頭腫瘍摘出術（経口腔）	1
K374	咽頭悪性腫瘍手術	3
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	16
K386	気管切開術	7
K3892	声帯結節（ポリープ）切除術（直達喉頭鏡）	2
K392-2	喉頭嚢腫摘出術	1
K3932	喉頭腫瘍摘出術（直達鏡）	3
K395	下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む）	3
K401	気管口狭窄拡大術	2
K407-2	軟口蓋形成手術（いびきに対する）	1
K410	口腔底悪性腫瘍手術	2
K412	頬粘膜悪性腫瘍手術	1
K4132	舌腫瘍摘出術（その他）	2
K414-2	甲状舌管嚢胞摘出術	1
K4151	舌悪性腫瘍手術（切除）	3
K4152	舌悪性腫瘍手術（亜全摘）	1
K4232	頬腫瘍摘出術（その他のもの）	1
K454	顎下腺摘出術	2
K4571	耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）	3
K4572	耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺深葉摘出術）	4
K4581	耳下腺悪性腫瘍手術（切除）	2
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	1
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	2
K467	頸嚢摘出術	1
K4691	頸部郭清術（片側）	5
K470	頸部悪性腫瘍手術	1
K6261	リンパ節摘出術（長径３ｃｍ未満）	8
K6262	リンパ節摘出術（長径３ｃｍ以上）	1
	ラリンゴマイクロ下生検Ｄ２９６、Ｄ４１７-７	2
	ラリンゴマイクロ下生検	4
	口腔底腫瘍生検術	1
	頸部リンパ生検	1
	止血術	1
	耳鼻咽喉科　計	170

循環器関連検査実績（平成18年4月～平成19年3月）

心筋シンチ	174
Treadmill exercise test	192
ホルター－ＥＣＧ	476
心臓カテーテル検査	343



93年	76
94年	209
95年	228
96年	240
97年	268
98年	274
99年	287
00年	402
01年	382
02年	261
03年	321
04年	293
05年	216
06年	343



血液内科移植症例（平成18年度）

平成18年4月～平成19年3月

自己末梢血幹細胞移植 （auto　PBSCT）	5例
同種末梢血幹細胞移植 （auto　PBSCT）	1例

平成18年度　麻酔科実績（平成18年4月～平成19年3月）

	月別												
麻酔	H18.4	5	6	7	8	9	10	11	12	H19.1	2	3	総計
1．全麻	35	39	39	32	31	47	30	29	32	30	26	37	407
2．全麻＋硬麻	34	37	29	39	30	29	27	28	22	29	32	19	355
3．全麻＋腰麻	11	8	9	8	6	10	17	15	12	11	14	8	129
4．腰麻	17	15	19	26	25	18	18	12	19	14	5	15	203
5．腰麻＋硬麻	3	3	6	6	3	1	1	5	3	4	2	3	40
6．硬麻	1	3		1	1				1		1		8
7．静麻	7	9	8	6	4	2	6	8	11	5	6	9	81
8．局麻	53	51	40	45	48	45	48	32	34	34	32	51	513
9．ブロック	10	3	5	6	4	3	5	7	8	8	6	4	69
無し								2				1	3
総計	171	168	155	169	152	155	152	138	142	135	124	147	1,808

＜平成18年度　特殊麻酔管理＞	
分離肺換気麻酔	9
低血圧麻酔	4
自己血輸血	15

	診療科別									
麻酔	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	産婦人科	内科	麻酔科	総計
1．全麻	60	119	34	2	158	26	7	1		407
2．全麻＋硬麻	251	22		6			76			355
3．全麻＋腰麻	42	68		4			15			129
4．腰麻	107	35		38			23			203
5．腰麻＋硬麻		1		1			38			40
6．硬麻							1		8	9
7．静麻		1	1	1			78			81
8．局麻	174	83	40	75	13	125			2	512
9．ブロック		69								69
10．その他										0
無し	2			1						3
総計	636	398	75	128	171	151	238	1	10	1,808

2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
(H14)	(H15)	(H16)	(H17)
305	287	386	347
227	276	338	363
			129
320	282	205	194
1	1	21	41
10	7	19	12
68	107	100	84
380	424	398	515
43	52	40	50
1	3	4	1
1	1		
1,356	1,440	1,511	1,736

平成18年度 内視鏡検査及び治療内視鏡件数

(平成18年4月～平成19年3月)

内視鏡検査	
胃内視鏡検査	7,220
大腸内視鏡検査	2,491
気管支鏡	53
内視鏡的逆行性膵胆管造影検査	64
胆道鏡	0
超音波内視鏡検査（上部）	15
超音波内視鏡検査（下部）	8
上部消化管／治療名	
内視鏡的消化管止血術	66
食道狭窄拡張術（バルーン拡張）	53
食道狭窄拡張術（ブジー拡張術）	0
内視鏡的粘膜切除術／ポリペクトミー	26
内視鏡的静脈瘤結紮術	11
食道及び胃内異物摘出術	8
内視鏡的粘膜下層切開剥離術	13
内視鏡的静脈瘤硬化療法	15
内視鏡的食道ステント留置術	2
癌局所療法（焼灼術）	5
胃瘻造設術	60
内視鏡的乳頭切開術	22
内視鏡的総胆管結石砕石/採石	17
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ	7
胆道ドレナージ	5
膵管ドレナージ	4
下部消化管／治療	
内視鏡的粘膜切除術／ポリペクトミー	258
直腸狭窄拡張術（バルーン拡張）	3
内視鏡的消化管止血術	7
異物摘出術	0
術前マーキング	12
気管支 ／ 治療	
内視鏡的気管･気管支ステント留置術	2
合計	10,447

平成18年度　ＩＣＵ入室患者数（平成18年4月～平成19年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H19.1月	2月	3月	計
外科	外科	35	32	27	28	30	29	28	25	18	27	20	20	319
	整形	7	13	9	7	5	9	5	12	5	9	12	10	103
	脳外科	15	11	4	11	8	13	9	7	12	10	10	6	116
	婦人科	8	8	6	8	7	5	10	7	4	9	4	4	80
	泌尿器科	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	耳鼻科	6	5	4	4	6	7	2	9	5	5	9	14	76
	眼科	1	2	1	0	1	4	0	1	5	3	1	1	20
	小計	72	72	53	59	57	67	54	61	49	63	57	55	719
	(リカバリ)	(44)	(47)	(34)	(34)	(26)	(37)	(27)	(37)	(33)	(36)	(37)	(36)	(428)
内科	等)	9	5	10	7	6	7	8	4	7	9	16	4	92
	呼吸器	7	3	6	7	4	9	4	5	6	4	8	2	65
	消化器	5	9	5	5	7	7	4	3	6	9	8	4	72
	感染症	0	5	7	4	4	3	4	3	1	2	2	4	39
	脳梗塞	4	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	10
	血液	2	0	3	4	2	2	0	0	4	1	1	2	21
	腎･代謝	3	1	1	1	2	0	2	1	2	2	1	4	20
	薬物中毒	1	4	1	4	3	4	0	1	1	2	2	3	26
	CPA	4	2	1	4	1	3	2	0	1	0	1	2	21
	小計	35	31	36	37	29	35	24	17	29	29	39	25	366
	合計	107	103	89	96	86	102	78	78	78	92	96	80	1085
	(死亡数)	(4)	(10)	(6)	(10)	(3)	(7)	(3)	(3)	(2)	(4)	(4)	(5)	(61)

平成18年度　出張血液浄化症例数

(平成18年4月～平成19年3月)

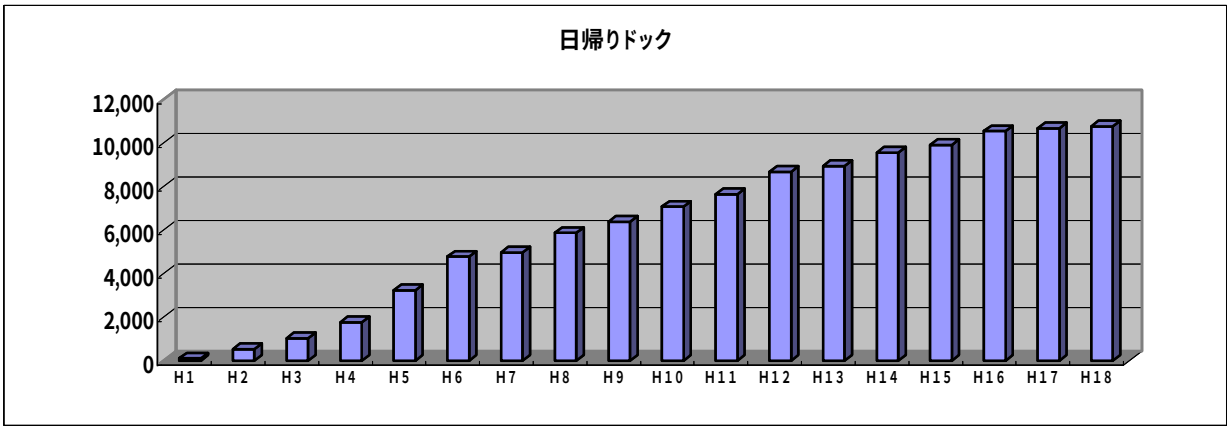
年月	血液浄化療法							血漿浄化療法			合計
	HD	CHF	CHDF	白血球除去療法		血液吸着		血漿吸着	PP		
				GCAP	LCAP	PMX	DHP	ビリルビン吸着	PE	DFPP	
2006.4	8	30				2					40
5	13	21				3		2	6		45
6	14	35					2	12			63
7	14	30	11			3			4		62
8	2	33	1			5					41
9	13	11	1			3					28
10	3	25				3					31
11	5	7		4		1					17
12	17	33		1		2	6	1			60
2007.1	9	4		3				2			18
2	15	5		2							22
3	19	18				1	1	0			39
計	132	252	13	10	0	23	9	17	10	0	466

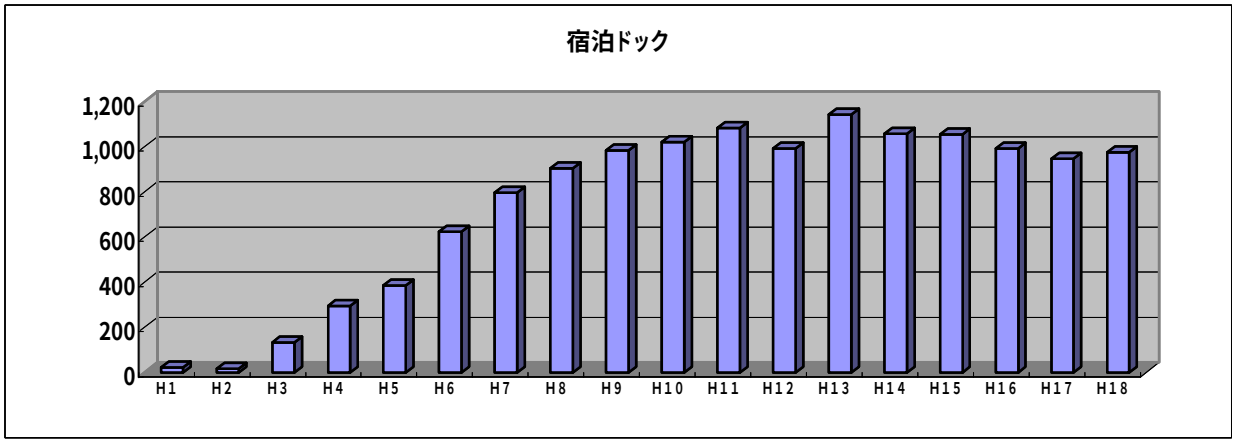
2006年末現在 血液透析患者数

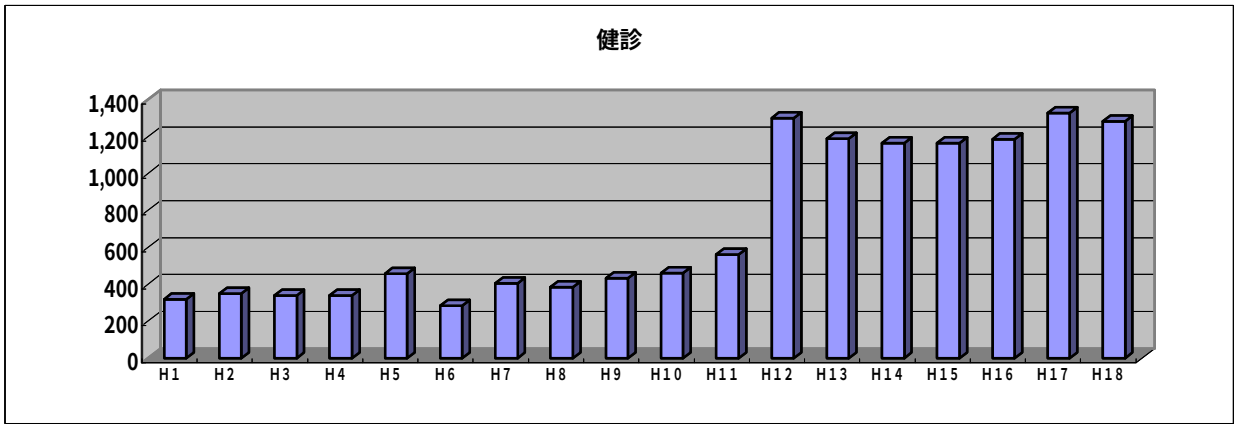
2006年末 透析患者総数	HD	CAPD	2006年 血液透析導入患者数	2006年 透析患者死亡数
137	135	2	19	6

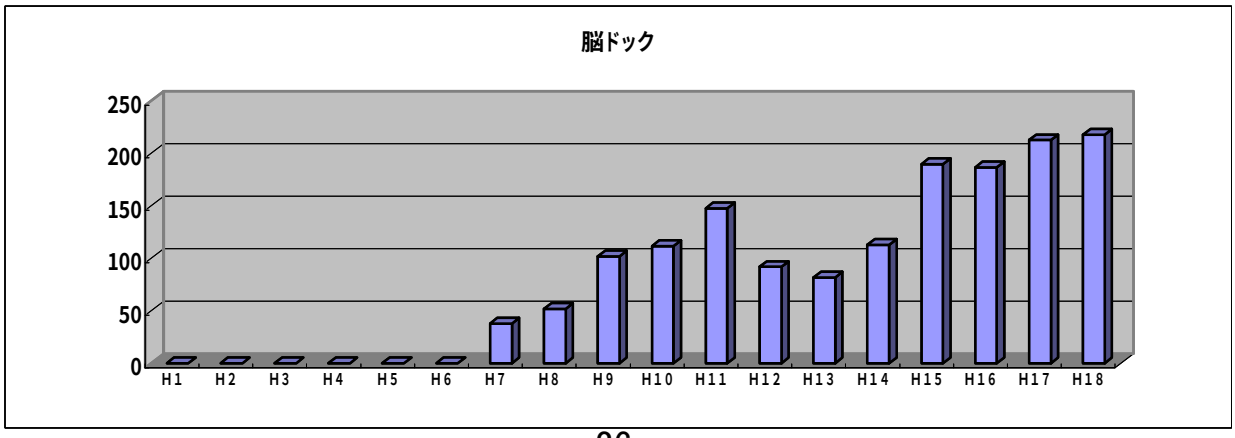
予防医学センター ＭＳＣ 年度別受診者数

年度	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
日帰りドック	111	537	1,034	1,779	3,245	4,796	4,989	5,884	6,393	7,088	7,667	8,700	8,953	9,576	9,925	10,568	10,709	10,794
宿泊ドック	23	15	133	296	385	624	796	904	985	1,023	1,084	994	1,143	1,060	1,056	993	948	975
健診	319	350	342	342	460	286	406	385	436	462	562	1,301	1,192	1,168	1,168	1,187	1,331	1,285
脳ドック	0	0	0	0	0	0	38	52	102	112	148	92	82	113	190	187	213	218









平成１８年度　臨床検査実績件数（平成18年4月～平成19年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月	計
尿･糞便検査	3,927	3,861	4,276	4,197	4,236	4,204	3,823	3,847	3,802	3,733	3,735	3,849	47,490
血　液	11,427	11,674	12,033	11,949	11,809	11,481	11,762	11,102	11,412	11,368	11,510	12,072	139,599
生化学①	56,980	56,785	58,320	61,022	59,544	58,053	60,894	57,358	59,353	59,822	59,216	61,279	708,626
生化学②	1,224	1,078	1,212	1,527	1,412	1,463	1,525	1,345	1,298	1,423	1,320	1,464	16,291
免　疫	7,049	7,249	7,909	7,625	7,211	6,850	7,014	6,357	6,736	6,896	7,554	8,741	87,191
微生物	1,539	1,855	1,613	1,697	1,564	1,639	1,805	1,557	1,744	1,626	1,619	1,665	19,923
病　理	875	972	1,110	1,113	1,104	1,163	1,142	1,053	1,071	905	878	940	12,326
呼吸循環機能	1,010	1,041	1,135	1,108	1,121	1,052	1,032	958	1,009	1,007	1,078	1,068	12,619
超音波	1,067	1,136	1,224	1,223	1,239	1,169	1,255	1,297	1,213	1,158	1,180	1,200	14,361
脳波等	16	14	36	29	26	25	22	31	19	24	34	23	299
神経･筋	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
耳鼻咽喉	110	120	135	132	143	146	114	121	177	96	100	106	1,500
眼　科	2,559	2,958	2,944	2,880	3,026	2,818	2,842	2,304	2,830	2,506	2,522	2,507	32,696
負荷試験	59	40	57	723	57	43	50	65	45	39	45	49	1,272
ＭＲＩ	309	318	389	364	398	295	216	255	223	211	203	237	3,418
計	88,151	89,101	92,394	95,589	92,891	90,401	93,496	87,650	90,932	90,814	90,994	95,200	1,097,613

平成18年度　放射線科 稼動状況報告書　(平成18年4月～平成19年3月)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
	稼動日数	24	24	26	25	27	24	25	24	25	23	23	26	
透	件数	162	527	931	851	953	826	838	810	639	412	527	150	7,626
視	稼動平均	6.8	22.0	35.8	34.0	35.3	34.4	33.5	33.8	25.7	16.5	22.9	5.8	25.5
C	件数	841	945	898	1,002	981	908	956	887	922	867	863	957	11,027
T	稼動平均	35.0	39.3	34.5	40.1	36.3	37.8	38.2	34.0	36.9	34.7	37.5	36.8	36.8
	件数	38	25	4	42	35	37	30	39	43	44	48	43	428
アンギオ	稼動平均	1.6	1.0	1.4	1.7	1.3	1.5	1.2	1.6	1.7	1.8	2.1	1.7	1.6
R	件数	48	42	40	42	40	40	36	59	56	37	46	32	518
I	稼動平均	2.0	1.8	1.5	1.7	1.5	1.7	1.4	1.3	1.2	1.5	2.0	1.2	1.6
骨	件数	16	37	67	81	82	100	137	118	77	32	25	26	798
塩	稼動平均	0.7	1.5	2.6	3.2	3.0	4.2	5.5	4.9	3.1	1.3	1.1	1.0	2.7
DIP	件数	5	2	3	5	1	1	2	0	1	2	1	0	23
IVP	稼動平均	0.21	0.08	0.12	0.20	0.04	0.04	0.08	0.00	0.04	0.08	0.04	0.00	0.08

平成18年度　Angio 件数 (平成18年4月～平成19年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	TOTAL
CAG	18	13	18	24	19	23	17	23	24	37	24	32	272
PTCA	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
STENT	3	5	8	6	9	3	4	4	5	2	12	6	67
ペースメーカー	2	0	0	2	2	0	0	0	2	0	1	1	10
ペーシング（体外式）	0	0	1	2	1	2	0	1	0	0	1	1	9
心嚢穿刺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	24	18	29	34	31	28	21	28	31	39	39	40	362
脳ANGIO	10	5	2	2	1	5	2	6	3	2	3	3	44
腹部ANGIO	3	1	2	2	1	3	3	2	1	1	3	0	22
TEA	1	0	2	4	2	1	3	3	8	1	2	0	27
動注ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
小計	4	1	4	6	3	4	6	5	9	3	6	0	51
シャント造影	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
PTA	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小計	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
TOTAL	38	25	35	42	35	37	30	39	43	44	48	43	459

平成18年度　病診連携実績月別一覧表

(平成18年4月～平成19年3月)

＜紹介件数＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介総数	H11	261	216	227	313	295	269	231	228	173	188	254	256	2911
	H12	249	237	252	246	260	220	260	221	208	205	175	238	2771
	H13	254	247	316	344	385	277	292	279	236	205	175	238	3248
	H14	231	281	353	359	394	324	354	311	274	271	288	287	3727
	H15	271	305	378	400	368	364	346	314	311	309	297	317	3980
	H16	334	318	423	437	447	382	350	363	351	358	303	423	4489
	H17	444	447	475	533	515	441	471	414	450	422	443	498	5553
	H18	566	496	531	523	606	521	519	511	480	450	458	494	6155
病　院	H11	91	76	74	87	90	88	66	77	50	58	77	99	933
	H12	104	88	80	69	74	58	96	71	65	57	49	81	892
	H13	76	55	79	57	77	64	74	63	65	57	49	81	797
	H14	71	78	73	88	88	91	87	86	76	100	78	94	1010
	H15	87	83	123	109	105	126	108	109	102	105	97	105	1259
	H16	97	82	105	123	137	122	113	105	115	137	98	125	1359
	H17	150	139	136	144	150	132	142	115	150	133	163	170	1724
	H18	270	172	158	143	165	142	165	141	154	144	137	155	1946
診療所	H11	91	61	77	69	64	61	86	76	62	72	98	99	916
	H12	72	80	82	83	80	79	90	76	76	72	69	90	949
	H13	105	89	99	113	88	77	99	89	101	72	69	90	1091
	H14	97	98	106	113	96	98	105	91	102	103	119	120	1248
	H15	120	107	105	118	91	127	117	117	102	98	128	127	1357
	H16	150	97	139	143	116	146	133	133	140	142	133	221	1693
	H17	213	218	204	218	196	174	208	178	194	218	207	255	2483
	H18	229	240	263	251	276	250	205	238	192	210	222	260	2836
登録医	H11	77	58	65	58	61	51	73	67	58	70	88	93	819
	H12	68	77	76	77	75	73	88	65	69	68	61	79	876
	H13	98	74	83	102	78	73	81	77	94	68	61	79	968
	H14	88	82	98	99	86	83	86	79	85	92	112	108	1098
	H15	106	94	96	105	83	115	99	107	90	92	114	120	1221
	H16	134	83	126	124	101	136	125	117	123	128	119	200	1516
	H17	201	195	183	195	177	154	177	152	160	168	173	220	2155
	H18	183	190	216	199	251	212	176	218	166	174	185	231	2401
施　設	H11	57	38	29	34	35	40	26	26	30	37	47	8	407
	H12	42	38	35	35	27	31	34	36	35	25	20	30	388
	H13	26	31	31	22	28	30	35	52	24	25	20	30	354
	H14	28	29	36	28	26	27	42	32	41	34	55	25	403
	H15	28	30	35	37	43	40	32	32	38	70	41	39	465
	H16	37	43	45	42	46	31	26	38	31	37	32	32	440
	H17	26	29	36	35	27	33	26	24	34	30	30	34	364
	H18	33	25	29	35	40	28	27	24	34	31	50	34	390
その他(検診機関等)	H11	22	41	47	123	106	80	53	49	31	17	32	15	616
	H12	31	31	55	59	79	52	36	38	32	43	37	37	530
	H13	47	72	107	152	192	106	84	75	46	43	37	37	998
	H14	35	76	138	130	184	108	120	102	55	34	36	48	1066
	H15	36	85	115	136	129	71	89	56	69	36	31	46	899
	H16	50	96	134	129	148	83	78	87	65	42	40	45	997
	H17	55	61	99	136	142	102	95	97	72	41	43	39	982
	H18	34	59	81	94	125	101	122	108	100	65	49	45	983

《平成 18 年度　Journal Club 》

(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)

毎週水曜日　8:00 ～ 8:30

月　　日	担　当　者	演　題　名
4 月 5 日	久 場　良 也	心肺蘇生法のコンセンサス
4 月 12 日	佐 藤　孝 俊	シリコンバッグ豊胸術によるヒト・アジュバンド病が疑われた一例
4 月 19 日	照 屋　な つ き	扁桃周囲膿瘍様所見を呈した川崎病の一例
4 月 26 日	難 波　豊 隆	高血圧症と電解質異常
5 月 10 日	松　元　悟	ドーピングについて
5 月 17 日	上　笹　航	頚動脈狭窄の治療について
5 月 24 日	古 謝　静 男	反回神経麻痺
5 月 31 日	高　良　誠	特発性低髄液圧症候群の一例
6 月 7 日	西　原　実	ラパコレ（ビデオ）
6 月 14 日	勝 連　英 雄	PWV と ABI の経時的変化（維持血液透析患者における 6 年間の検討）
6 月 21 日	幸 地　綾 子	頭頚部腫瘍の再建
6 月 28 日	新 垣　勝 男	脊椎外科～総論～
7 月 5 日	島 袋　敏 秀	症例報告
7 月 12 日	毛 利　貴 子	慢性疾患における考え方
7 月 19 日	安 藤　美 恵	母乳と薬剤
7 月 26 日	多 久 島　康 司	産婦人科急性腹症
8 月 2 日	佐 久 川　廣	HB 感染とワクチンによる予防
8 月 9 日	西 垣　大 志	食道アカラシアに合併した食道癌の一例
8 月 16 日	浦 崎　賢 演	創傷治療の実際～消毒の是非～
8 月 23 日	比 嘉　明 子	眼外傷～当院での症例を中心に～
8 月 30 日	宮　平　工	胃癌治療ガイドラインを学ぶ
9 月 6 日	友 利　健 彦	高齢者十二指腸潰瘍狭窄に対し、腹腔鏡下胃空腸吻合術を施行した一例
9 月 13 日	井　上　卓	循環器疾患の疫学的アプローチ
9 月 20 日	仲 吉　朝 邦	RFA（Radiofrequency Ablation）ラジオ波焼灼療法
9 月 27 日	久 場　良 也	G2000 から G2005 へ（成人の場合）－質の高い CPR－
10 月 4 日	門 田　純 子	原因不明の腹痛発作を繰り返し、上腸間膜動脈症候群と診断した一例
10 月 11 日	天　願　敬	統合失調症患者における急性虫垂炎の問題点
10 月 18 日	川　満　豊	先天奇形について
10 月 25 日	山　下　懐	巨大化した口腔底類皮のう胞の一例
11 月 1 日	西　原　実	GBK（胆嚢癌）

月　　日	担　当　者	演　題　名
11 月 8 日	與　座　一	冠動脈 CT について
11 月 15 日	比 嘉　良 夫	膵炎と PAR
11 月 22 日	嘉 川　春 生	ハートライフ病院における臓器提供に関しての経過報告
11 月 29 日	髙 山　尚 子	腹腔鏡下子宮筋腫核出術（LAM）前 GnRHa 治療～著効症例と反省症例～
12 月 6 日	平 良　直 也	抗真菌剤の使用方法
12 月 13 日	普 天 間　光 彦	当院における過去 3 年間の薬剤感受性
12 月 20 日	釜 野　武 志	若年発症した ATLL の一例
12 月 27 日	石 野　信 一 郎	飲酒運転事故とその予防策
1 月 10 日	原　真 紀 子	遷延性咳嗽と慢性咳嗽
1 月 17 日	佐 久 川　陽 子	症例報告
1 月 24 日	村 田　勝 一 郎	急性膵炎診療方針
1 月 31 日	内 海　大 介	副腎不全を伴った両側副腎原発悪性リンパ腫
2 月 7 日	大 城　史 子	腱損傷について
2 月 14 日	折　田　均	FD について（スライド）
2 月 21 日	石 田　友 樹	骨盤骨折について
2 月 28 日	仲 地　佐 和 子	出血時間－適応と術式
3 月 7 日	東　千　夏	骨粗鬆症について
3 月 14 日	椎 津　敏 明	健康づくりのための運動指針 2006
3 月 28 日	裘　猛	DM、IGT、IFG

平成18年度　院内CPCカンファレンス
(Clinicopathological conference)

平成18年4月～平成19年3月

演　題　名	年　月　日	担　当　者
「心肺停止状態にて搬送され、剖検にてくも膜下出血と診断された一例」	5月17日平成18年	大山拓真、平良直也、喜友名正也
「糖尿病に抗リン脂質抗体症候群を合併し、末梢壊疽・脳梗塞・肺塞栓を来たした一症例」	9月27日平成18年	照屋なつき、椎津敏明、毛利貴子、山本壽一、喜友名正也
「TTP/HUSの一例」	10月25日平成18年	難波豊隆、佐久川陽子、勝連英雄、喜友名正也
「診断に苦慮した大腸腫瘍の一例」	3月7日平成19年	佐藤孝俊、杜葉美樹、仲吉朝邦、喜友名正也

がんフォーラム

講演名	開催年月日	演題名	講演者
第7回 ハートライフ病院　がんフォーラム	5月18日2006年	胃がん検診について	島袋　隆志（島袋内科・胃腸科院長）
		乳がんの早期診断と最新治療について	玉城　信光（那覇西クリニック理事長）
			座長　奥島憲彦（ハートライフ病院　副院長）
第8回 ハートライフ病院　がんフォーラム	6月7日2006年	肺癌の早期発見について－胸部X線フィルム読影上の盲点－	石川清司（国立病院機構沖縄病院　院長）
		大腸がんの早期発見について－大腸癌検診の現状-	金城福則（琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部部長）
			座長　奥島憲彦（ハートライフ病院　副院長）
第9回 ハートライフ病院　がんフォーラム 第46回 中部地区医師会合同カンファレンス	8月24日2006年	一般診療における抗うつ剤の使い方	菅野善一郎（琉球大学医学部附属病院 精神科）
		新しい早期癌の診断法NBIの有用性(下咽頭・食道・胃)」	武藤学（国立がんセンター東病院　内視鏡部消化器内視鏡教室医長）
			座長　奥島憲彦（ハートライフ病院　副院長）

市民公開講座

講演名	開催年月日	演題名	講演者
第1回 がん市民公開講座	4月26日2006年	喫煙と健康について	宮城　真里(アドベンチストメディカルセンター 看護師)
			座長　西原　実（ハートライフ病院　外科副部長）
第2回 がん市民公開講座	7月6日2006年	健診で発見できるがん	比嘉昌文（ハートライフ予防センター医師）
			座長　西原　実（ハートライフ病院　外科副部長）
第3回 日本外科病理学会九州支部市民公開講座	10月7日2006年	大腸がんの予防と治療～がんで死なないために～	照屋　剛（豊見城中央病院外科 医長）
			座長　友利　健彦（ハートライフ病院外科 医長）
		肺がんなんて怖くない	下地　光好（南部徳洲会病院胸部外科）
			座長　向山　秀樹（宇和島徳洲会病院泌尿器科）
		肥満、お酒と肝がん	佐久川廣（ハートライフ病院内科部長）
			座長　仲地　広美智（宜野湾記念病院内視鏡外科 部長）
		リンパ腫は怖くない	平良直也（ハートライフ病院血液内科 医長）
			座長　栗山　一孝（琉球大学医学部血液免疫検査講座 教授）
		知っておこう、気をつけよう骨粗鬆症	大湾一郎（琉球大学医学部整形外科講座 助教授）
			座長　松元　悟（ハートライフ病院 副院長）
			会長　西原　実（ハートライフ病院 外科副部長）

平成18年度　学会発表及び論文･著書
[診療部門]
《内科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	第92回日本消化器病学会総会	福岡県	2006/4/21～2006/4/22	佐久川廣
患者中心の医療の実践における、医療スッタフと患者の役割の認識不足	第21回日本家庭医療学会	愛知県	2006年5月14日	毛利貴子
講演会講師	北部地区医師会ESD勉強会	名護市	2006年5月19日	折田均
司会	第49回日本糖尿病学会年次学術集会	東京都	2006/5/25～2006/5/27	山本壽一
糖尿病エンパワーメントアプローチを実践する	塩尻協立病院糖尿病学習講演会	長野県	2006年5月26日	山本壽一
糖尿病患者の心の絆（セルフケア行動を促進する関係性について）	第49回日本糖尿病学会年次学術集会	東京都	2006年5月27日	山本壽一、仲里幸康、大城郁子、玉那覇美幸、識名ゆかり、久場典子、毛利
患者に尋ねることの大切さ詳しい説明よりも質問されたほうが満足している	第49回日本糖尿病学会年次学術集会	東京都	2006年5月27日	毛利貴子，玉那覇美幸，大城郁子，仲里幸康，山本壽一
座長 運動療法症例検討会	第6回実践的糖尿病教育研究会	東京都	2006年5月27日	山本壽一
糖尿病治療への動機付け	第6回南部地区糖尿病ネットワーク	沖縄県	2006年6月7日	山本壽一
反復性大腸憩室炎に認められたCap polyposisが疑われた一例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	佐藤孝俊、洲鎌理知子、城間丈二、比嘉良夫、折田均、友利健彦、金城福則（琉球大学附属病院･光学医療診療部）
Peg-IFNα2a(ﾍﾟｶﾞｼｽ)を投与したC型肝硬変の2例	ﾍﾟｶﾞｼｽ講演会	那覇市	2006年6月30日	仲吉朝邦、比嘉良夫、折田均、佐久川廣、前城達次（琉大第一内科）
当院人間ドックにおける大腸内視鏡検査で発見された腫瘍性病変の検討	第61回日本消化器外科学会総会	神奈川県	2006/7/12～2006/7/15	宮里稔，折田均，比嘉良夫，洲鎌理知子，城間丈二，比嘉昌文
講演「危険因子としての心拍数―メタボリック症候群～心血管疾患との関連―」	第5回　Total management of Hypertension	宜野湾市	2006年8月25日	井上卓
ポスター発表「The impact of heart rate on the development of metabolic Analysis of screened cohort in Okinawa japan」	World Congress of Cardiology 2006	海外（スペイン）	2006/8/31～2006/9/6	井上卓

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
メタボリック症候群と心拍数の関連　人間ドック受診者における断面解析	第54回日本心臓病学会集会	鹿児島県	2006/9/24～2006/9/25	井上卓,大屋裕輔（琉球大学医学部循環系総合内科学）,瀧下修一（琉球大学医学部循環系総合内科学）
生活習慣病　糖尿病と患者教育	第25回沖縄県麻酔･集中治療研究会	沖縄県	2006年9月30日	山本壽一
肥満、お酒と肝がん	第3回日本外科病理学会九州支部中部地区市民公開講座	当院	2006年10月7日	佐久川廣
リンパ腫は怖くない	第3回日本外科病理学会九州支部中部地区市民公開講座	当院	2006年10月7日	平良直也
リツキシマブ併用療法が有効であった難治性特発性血小板減少性紫斑病(ITP)	第48回日本血液学会･日本臨床血液学会	福岡県	2006年10月7日	村田勝一郎, 平良直也, 仲地佐和子
肺原発ホジキンリンパ腫の2例	第48回日本血液学会･日本臨床血液学会	福岡県	2006/10/7～2006/10/9	仲地佐和子、長崎明利（琉球大学･内分泌代謝内科学）、平良民子（琉球大学･内分泌代謝内科学）、中里哲朗（琉球大学･内分泌代謝内科学）、宮城敬（琉球大学･内分泌代謝内科学）、平良直也、増田昌人（琉球大学･内分泌代謝内科学）、高須信行（琉球大学･内
ＧＥＲＤ診断におけるＦＳＳＧ問診票の有用性の検討	第48回日本消化器病学会	北海道	2006年10月11日	折田均, 洲鎌理知子, 比嘉良夫, 金城福則（琉球大学附属病院･光学医療診療部）
ﾗﾐﾌﾞｼﾞﾝ投与を行ったD型肝炎の3症例	第48回日本消化器病学会	北海道	2006年10月13日	仲吉朝邦、折田均、佐久川廣、前城達次（琉大第一内科）、 藤田次郎（琉球大学大学院･分子病態感染症学）、金城福則（琉球大学附属病院･光学医療
多発性壊疽を合併した1型糖尿病の1症例	第44回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2006年10月13日	山本壽一、門田純子、毛利貴子、勝連英雄

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ポスターセッション発表「HIGHER HEART RATE CLEARLY ASSOCIATES WITH PROTEINURIA-THE CROSS SECTIONAL ANALYSIS OF THE SCREENED COHORT IN OKINAWA JAPAN」	The 21th Scietyfic Meeting of the ISH	福岡県	2006/10/15～2006/10/18	井上卓
講師	内視鏡講演会	石垣市	2006/10/20～2006/10/21	折田均
ポスター発表 「The Impact of Heart Rate on Metabolic Syndorome」	39th Annual Meeting and Scientific Exposition of American society of Nephrology	海外(アメリカ カルフォルニア サンディエゴ)	2006/11/14～2006/11/19	井上卓
保存的治療後に手術にて治療し得た胆石イレウスの一例	第88回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	石野信一郎、折田均、比嘉良夫、宮里稔、仲吉朝邦、佐久川廣、宮平工
内視鏡的拡張術が奏効した良性食道狭窄の1例	第88回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	難波豊隆、奥島憲彦、勝連英雄、折田均、比嘉良夫、宮里稔、仲吉朝邦、
同性愛者にみられ慢性肝炎の急性増悪との鑑別が困難であった1例	第88回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	杠葉 美樹、佐久川廣、仲吉朝邦、比嘉良夫、折田均、喜友名
座長 研修医発表 一般演題5･肝(2)	第88回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	佐久川廣
講師「糖尿病患者の心理的サポート」	栃木県糖尿病セミナー	栃木県	2006年11月18日	山本壽一
糖尿病患者の心理的サポート	第1回栃木県糖尿病療養指導セミナー	栃木県	2006年11月18日	山本壽一
ラジオ波焼灼術にて根治し得た肝細胞癌の1例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	杠葉 美樹、仲吉朝邦、折田均、比嘉良夫、佐久川廣
最近経験した心筋梗塞を疑った横紋筋融解症の1症例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	釜野 武志、佐久川廣、久場良也、井上卓
ESDにて切除しえたBarrett腺癌の一例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	村田勝一郎、折田均、比嘉良夫、仲吉朝邦、佐久川廣、喜友名正也
当院における耳漏培養の検出菌とその薬剤感受性	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	佐藤 孝俊、川満豊、安藤美恵、山下懐、幸地綾子、古謝静男、仲里幸康
肺癌に対しイレッサが有効であった2例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	石野 信一郎、普天間光彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
冠動脈CTが有用であった不安定狭心症の1例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	鹿糠行子、井上卓、島袋敏秀、与座一、安里哲
フルダラビン投与後に自己免疫性溶血性貧血来たし、リツキシマブ投与にて改善を認めた慢性リンパ性白血病の一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	村田勝一郎, 仲地佐和子, 平良直也
当院における胃ESDの導入の経緯と現状について	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	折田均, 比嘉良夫, 仲吉朝邦, 佐久川廣, 奥島憲彦, 金城福則（琉球大学附属病院･光学医療診療部）, 藤田次郎（琉大第一
Peg-IFNαを投与したC型肝硬変の2例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月10日	仲吉朝邦、比嘉良夫、折田均、佐久川廣、前城達次、金城福則（琉球大光学医療診療部）、藤田次郎（琉大第
HBs抗原陽性であるがNASHと考えられた1例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	難波豊隆, 比嘉良夫, 折田均, 仲吉朝邦, 佐久川廣, 喜友名正
肝細胞癌を合併したD型慢性肝炎の一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	杠葉美樹, 仲吉朝邦, 比嘉良夫, 折田均, 佐久川廣, 西原実, 奥島憲彦, 喜友名正也, 戸田隆義（琉球大学医学部検査部）
肺膿瘍を契機に横隔膜穿孔をきたしたと思われる一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	石野信一郎、金城詩子、普天間光彦、仲吉朝邦、高良誠
座長〈ミニレクチャー 2題〉	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	安里哲好
座長〈循環器内科I 5題〉	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	井上卓
喘息の治療後に急性増悪を起こしたB型慢性肝炎の1例	沖縄肝臓研究会	宜野湾市	2007年2月17日	仲吉朝邦、比嘉良夫、折田均、佐久川廣、湧田森明（わくさん内
患者さんの心理的負担感を減らす方法	第1回西東京糖尿病心理と医療研究会	東京都	2007年2月17日	山本壽一
心拍数からみた肥満とメタボリック症候群	21世紀フォーラム　心血管病とリスクファクター　5th	東京都	2007年2月17日	井上　卓
講師	ACID Meeting in 宮古	宮古島市	2007年3月9日	折田均

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
The Effect of Statin Use on Diastolic Function in Patients with Normal Left Ventricular Ejection Fraction	第71回日本循環器学会学術集会	兵庫県	2007/3/14～2007/3/16	井上　卓

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
反復性大腸憩室炎に認められたCap polyposisが疑われた一例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	2006.11) 0911-5897)45巻2号 Page14-16	佐藤孝俊, 洲鎌理知子, 城間丈二, 比嘉良夫, 折田均, 友利健彦, 西原実, 喜友名正也, 金城福則 (琉球大学附属病院･光学医療診療部)
沖縄の正常血圧者コホートにおける高血圧症の重要な決定因子としてのタンパク質尿(Proteinuria as a Significant Determinant of Hypertension in a Normotensive Screened Cohort in Okinawa, Japan)(英語)	Hypertension Research	2006.09) 0916-9636)29巻9号 Page687-693	InoueTaku, IsekiKunitoshi, (Dialysis Unit,University Hospital of the Ryukyus,Okinawa,Japan) HigashiuesatoYasushi (Departments of Cardiovascular Medicine,Nephrology,and Neurology,Faculty of Medicine,University of the Ryukyus,Okinawa,Japan) , NagahamaKazufumi (Departments of Cardiovascular Medicine,Nephrology,and Neurology,Faculty of Medicine,University of the Ryukyus,Okinawa
【糖尿病診療のエビデンス&プラクティス　欧米のエビデンスを日本でどこまで活かせるか】2型糖尿病患者のメンタルケア	糖尿病診療マスター	2006.09) 1347-8176)4巻6号 Page729-733	毛利貴子, 山本壽一
【糖尿病治療を中断させないために】糖尿病治療中断に至る心理的要因	プラクティス	2007.03) 0289-4947)24巻2号 Page179-184	山本壽一

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
肝炎の診断とウイルスマーカー	沖縄県医師会報	2006.05) 0917-1428)42巻5号 Page75-81	佐久川廣
糖尿病患者のメンタルケア	糖尿病外来診療ブラッシュアップ（編集吉岡成人）	2006） p.228-237	山本壽一

《外科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大網充填術施行後、充填部大網からの出血を認めた一例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	照屋なつき、西原実、杠葉美樹、藤谷健二、阿嘉裕之、宮平工、友利健彦、
頭蓋骨骨折･骨盤骨折に合併したARDSの一例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	杠葉美樹、西原実、佐藤孝俊、藤谷健二、阿嘉裕之、宮平工、友利健彦、奥島憲彦、照屋なつき、久場良也、比嘉丈矢、浦崎賢演、小川一
緊急内視鏡的逆行性膵胆管造影（ＥＲＣＰ）時に、総胆管損傷を来たしたと思われる胆嚢･総胆管結石の一例	第10回日本救急医学会九州地方会	福岡県	2006年4月22日	佐藤孝俊、西原実、比嘉良夫、藤谷健二, 阿嘉裕之, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦
腹腔鏡下胆嚢摘出術における術中胆道損傷予防のための対策	第18回日本肝胆膵外科学会	東京都	2006年5月11日	西原実、藤谷健二、阿嘉裕之, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦
膵頭十二指腸切除術後の肝門部仮性動脈瘤に対し、塞栓術を施行した1例	第36回九州膵研究会	佐賀県	2006年6月2日	西原実, 難波豊隆, 杠葉美樹, 照屋なつき, 藤谷健二, 阿嘉裕之, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲
当院におけるBarrett食道癌治療症例の検討	第61回日本消化器外科学会総会	神奈川県	2006/7/13～2006/7/16	奥島憲彦, 藤谷健二, 阿嘉裕之, 宮平工, 友利健彦, 西原実, 喜友名正也
当科における十二指腸潰瘍穿孔52例の治療成績からみた保存的治療の妥当性	第61回日本消化器外科学会総会	神奈川県	2006/7/13～2006/7/15	宮平工, 藤谷健二, 阿嘉裕之, 友利健彦, 西原実, 奥島憲彦
胃瘻造設術前レントゲンによる合併症予防について	第61回日本消化器外科学会総会	神奈川県	2006/7/13～2006/7/15	阿嘉裕之, 藤谷健二, 宮平工, 友利健彦, 西原実, 奥島憲彦, 西巻正（琉球大学第一外科）

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における食道癌ESD症例の治療成績の検討	第4回九州消化器疾患治療研究会	福岡県	2006年8月26日	奥島憲彦、釜野武志、大山拓真、石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦、西原実、折田均、宮里稔、比嘉良夫、仲吉朝邦、
局所再発直腸癌に対しnegative-balanced 骨盤内閉鎖循環下抗癌剤灌流療法施行した2例	第61回日本大腸肛門病学会	青森県	2006年9月29日	友利 健彦, 折田均, 阿嘉裕之（あさと大腸肛門クリニック）佐村博範（琉球大学第一外科）
会長	第3回日本外科病理学会九州支部中部地区市民公開講座	当院	2006年10月7日	西原実
1年6ヶ月にわたりコントロールし得た腹膜播種の1例	第44回日本癌治療学会	東京都	2006年10月18日	西原実, 釜野武志, 大山拓真, 石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦, 喜友名正也
化学放射線治療後に仙骨合併切除した直腸癌の一例	第44回日本癌治療学会	東京都	2006年10月20日	友利健彦, 西垣大志, 天願敬, 石田友樹, 宮平工, 西原実, 奥島憲彦, 喜友名正也, 佐村博範（琉球大学第一外科）, 西巻正（琉球大学第一
腫瘍内嚢胞伴った胃GISTの1例	第68回日本臨床外科学会総会	広島県	2006/11/9～2006/11/11	宮平工, 石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 友利健彦, 西原実, 奥島憲彦
食道アカラシアに合併した食道癌および気管支原性嚢胞の一例	第68回日本臨床外科学会総会	広島県	2006/11/9～2006/11/11	西垣大志, 奥島憲彦, 西原実, 友利建彦, 宮平工, 天願敬, 石田友樹, 喜友名
術前に診断されたS状結腸癌の小腸穿通の一例	第68回日本臨床外科学会総会	広島県	2006/11/9～2006/11/11	石田友樹, 宮平工, 天願敬, 西垣大志, 友利健彦, 西原実, 奥島憲彦
座長　上部消化管4･胃がん（2）	第88回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
巨大食道憩室の一治療例	第８８回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月17日	村田勝一郎、奥島憲彦、釜野武志、大山拓真、石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 西原実、古謝静男、佐久川廣、喜友名正也
術前化学放射線療法が有効であった食道肺瘻を伴った進行食道癌の一例	第８８回日本消化器病学会九州支部例会	鹿児島県	2006年11月18日	石田友樹、奥島憲彦、天願敬, 藤谷健二、西垣大志 , 宮平工、友利健彦,西原
癌性疼痛を来した膵臓癌の肝転移、骨転移の一例	第１３回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	佐久川 陽子、西原実、石田友樹、天願敬、西垣大志、友利健彦、宮平工、奥島憲彦、菅野善一郎（琉球大学医学部附属病院・臨床精神医学）、伊藤昌徳、中野久乃、
Can you anticipate the Postoperative Hospital Stay of Patients with Acute Appendicitis？	ＩＳＤＳ	ローマ	2006/11/27～2006/12/3	西原実、石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦
当院における大腸癌に対する腹腔鏡下の現状	第１９回日本内視鏡外科学会	京都都	2006年12月5日	友利 健彦、西垣大志、天願敬、石田　友樹、宮平工、西原　実、奥島憲彦、西巻　正（琉球大学第一
高度炎症を伴う症例に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術	第１９回日本内視鏡外科学会	京都都	2006年12月6日	西原実、石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦
腹腔鏡手術後、早期に腹膜藩種を来した進行結腸癌の1例	第１９回日本内視鏡外科学会	京都都	2006年12月6日	宮平工、石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 友利健彦, 西原実、奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
径8センチの直腸腫瘍に対するTEMの経験	第19回日本内視鏡外科学会	京都都	2006/12/6～2006/12/8	西垣大志 、友利健彦、石田友樹, 天願敬, 宮平工、, 西原実、奥島憲彦、木下敬弘（東邦大学医療センター佐倉病院）、西巻正（琉球大学第一外科）
食道癌はESDで胃癌は手術で治療した一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	奥島憲彦, 内海大介, 釜野武志, 大山拓真, 石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 西原実, 喜友名
当院における十二指腸潰瘍穿孔症例の検討	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	宮平工, 内海大介, 石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 友利健彦, 西原実, 奥島憲
閉鎖孔ヘルニアによるイレウスの一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	西垣大志, 内海大介, 石田友樹, 天願敬, 宮平工, 友利建彦, 西平実, 奥島憲彦
後腹膜浸潤、腹膜播種を伴い腸閉塞をきたした大腸癌の一切除例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	天願敬, 西原実, 釜野武志, 内海大介, 石田友樹, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦, 喜友名正也
胆嚢憩室を伴った胆嚢結石症の1例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	内海大介, 西原実, 天願敬, 石田友樹, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦, 喜友名正也
腹腔鏡下胆嚢摘出術後に肝S4a、S5追加切除を施行した胆嚢癌の2例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	西原実, 内海大介, 佐久川陽子, 石田友樹, 天願敬, 西垣大志, 宮平工, 友利健彦, 奥島憲彦, 喜友名正也
腹腔鏡下胆嚢摘出手術を施行した壊死性胆嚢炎の1例	第43回日本腹部救急医学会総会	東京都	2007年3月8日	西原実、内海大介、石田友樹、天願敬、西垣大志、宮平工、友利健彦、奥島憲

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
S状結腸軸捻転症の1例	第43回日本腹部救急医学会総会	東京都	2007年3月8日	石田友樹、宮平工、釜野武志、大山拓真、天願敬、西垣大志、友利健彦、西原実、奥島憲彦、喜友名正也
閉鎖孔ヘルニアによるイレウスの4手術症例	第43回日本腹部救急医学会総会	東京都	2007年3月8日	西垣大志, 内海大介, 石田友樹, 天願敬, 宮平工, 友利建彦, 西原実, 奥島憲彦
膵尾部に発生した巨大嚢胞性腫瘍の一例	第44回九州外科学会	福岡県	2007年3月22日	天願敬、西原実、釜野武志、内海大介、佐久川陽子、石田友樹、西垣大志、宮平工、友利健彦、奥島憲彦

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
消化管出血シンチグラフィーが有用であった食道癌狭窄を伴う出血性胃潰瘍の1例	臨床外科	2006.12) 0386-9857)61巻13号 Page1693-1696	椎津敏明, 西原実, 阿嘉裕之, 久志一朗, 友利健彦, 奥島憲彦
Meckel憩室に発生し,CA125が高値であった小腸GISTの1例	臨床外科	2006.09) 0386-9857)61巻9号 Page1277-1281	宮平工、阿嘉裕之, 友利健彦, 西原実, 奥島憲彦, 戸田隆義（琉球大学医学部検査部）

《産婦人科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
卵巣未熟奇形腫治療後に発症したgrowing teratoma syndromeの一例	第63回日本産科婦人科学会九州連合地方部会	福岡県	2006/6/3～2006/6/4	多久島康司、髙山尚子、西藤真紀子
骨盤内炎症性疾患（PID）と避妊リング（IUD）の関連について	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	髙山尚子、多久島康司
Gn-RHa治療後に腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術を施行した小児頭大の子宮筋腫の一例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	多久島康司、髙山尚子、西藤真紀子
月経前緊張症に対する駆お血剤の有用性について	第57回日本東洋医学会学術総会	大阪府	2006/6/23～2006/6/25	多久島康司
当科における腹腔鏡下膣式子宮全摘出術の現況	第46回日本産科婦人科内視鏡学会学術講	東京都	2006/8/4～2006/8/5	多久島康司
進行卵管癌術後に再発やカルボプラチンによる急性過敏反応を起こしながら長期生存している一例	第44回日本癌治療学会総会	東京都	2006年10月19日	多久島康司、髙山尚子

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
腹腔鏡補助下膣式子宮全摘術（LAVH）における経膣的ドレーンとしてのフォーリーカテーテルの有用性に	第29回日本婦人科手術学会	大阪府	2006年11月25日	多久島康司、髙山尚子
妊娠を契機に発症したと思われる巨大結腸症の1例	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	大山 拓真、髙山尚子、多久島康司
腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術（LAM）前のGn-RHa治療～著効症例と反省症	第19回日本内視鏡外科学会	京都府	2006/12/5～2006/12/7	髙山尚子、多久島康司
下大静脈を圧排する巨大子宮筋腫に対し、下大静脈フィルター挿入下に腹式子宮全摘術を施行した一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	照屋なつき，多久島康司，高山尚子，久場良也

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
月経前緊張症に対する桃核承気湯の有用性につい	産婦人科漢方研究のあゆみ	2006.04）0913-865X)23号 Page108-111	多久島康司
当科における腹腔鏡下膣式子宮全摘術(LAVH)の現	日本産科婦人科学会沖縄地方部会雑誌	2007.03）1340-4830)29巻 Page30-32	多久島康司，髙山尚子
腹腔鏡補助下子宮筋腫核出術(LAM)前GnRHa治療で筋腫内血腫を形成した	日本産科婦人科学会沖縄地方部会雑誌	2007.03）1340-4830)29巻 Page33-37	髙山尚子，多久島康司
骨盤内炎症性疾患（PID）と避妊リング（IUD）の関連について	沖縄医学会雑誌	2006.11）0911-5897)45巻2号 Page45-48	髙山尚子、多久島康司
【女性医療と漢方医療】 産婦人科疾患 産褥管理における漢方の役割	産婦人科治療	2006.04）0558-471X)92巻増刊 Page712-716	多久島康司，椎津敏明，西藤真紀子，髙山尚子
腹腔鏡手術を行った卵巣顆粒膜細胞腫の1例	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	2007.03）22巻2号 Page382-386	髙山尚子，多久島康司

《整形外科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
外傷性非クロストリジウム性ガス壊疽の1例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	浦崎賢演、比嘉丈矢、金城英雄、大城史子、松元悟
破格筋が原因と考えられたGuyon管症候群の1例	第112回西日本整形･災害外科学会	鳥取県	2006/11/17～2006/11/19	金城英雄，大城亙（琉球大学医学部整形外科），松元悟，金谷文則（琉球大学医学部整形外科）

《泌尿器科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	沖縄県薬剤師会保険薬局部会研究会	宜野湾市	2006年12月3日	嘉川春生

《小児科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における耳漏培養の検出菌とその薬剤感受性	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	佐藤 孝俊、川満豊、安藤美恵、山下懐、幸地綾子、古謝静男、仲里幸康

《耳鼻咽喉科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	第18回　沖縄耳鼻咽喉科懇話会	沖縄県	2007年1月24日	古謝静男

《眼科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
琉球大における最近6年間の角膜移植症例の検討	第31回角膜カンファランス･第23回日本角膜移植学会	宮崎県	2007/2/8～2007/2/11	比嘉明子、宮良孝子（琉球大学医学部附属病院　眼科）、城間弘喜（琉球大学医学部附属病院　眼科）、早川和久（琉球大学医学部附属病院　眼科）、澤口昭一（琉球大学医学部附属病院　眼科）

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
角膜外科の術後合併症とその対策　角膜小手術後の感染症	眼科プラクティス	2007.01)　13巻 Page190-193	比嘉明子

《麻酔科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
一般演題座長	第3回沖縄MOF（多臓器不全）研究会	沖縄県	2006年4月22日	久場良也
座長〈麻酔科〉	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	久場良也
硬膜外自家血パッチが有効であった特発性低髄圧症候群の一例	第102回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年6月11日	久場良也、照屋孝二、末吉健次
骨盤骨折に呼吸不全を合併した一治験例	第16回日本集中治療医学会九州地方会	宮崎県	2006年7月8日	久場良也、照屋なつき、西原実、佐藤孝俊、末吉健次、高良
特別講演座長	第25回沖縄麻酔集中治療研究会		2006年9月25日	久場良也

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
一般演題座長	第4回沖縄県敗血症治療研究会		2006年10月7日	久場良也
講師	AHA-BLS	消防学校	2006年10月21日	久場良也
肺炎を契機とした敗血症性ショックにPMX療法が有効であった骨髄異形成症候群の一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	釜野武志, 久場良也, 平良直也, 仲地佐和子, 普天間光彦
下大静脈フィルターを留置し麻酔管理を行った巨大子宮筋腫の一例	第103回沖縄県医師会医学会総会	浦添市	2006年12月9日	佐久川陽子, 久場良也, 照屋なつき, 高山尚子, 多久島康司
血液悪性疾患の化学療法中に発症した敗血症性ショックに対するPMX-DHPの効果_ 非手術症例につ	第11回エンドトキシン血症救命治療研究会	東京都	2007年2月9日	久場良也、平良直也、仲地佐和子
血液悪性疾患の化学療法中に発症した敗血症性ショックに対するPMX-DHPの効果_ 非手術症例につ	第34回日本集中治療医学会学術集会	兵庫県	2007年3月1日	久場良也、平良直也、仲地佐和子
分娩後出血性ショックから多臓器不全に至った一治	第26回沖縄麻酔集中治療研究会	沖縄県	2007年3月2日	久場良也

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
PMX-DHPが有効であった結石性腎盂腎炎による敗血症性ショックの一例 6時間施行を試みてー	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	2006.12) 1348-821X)10巻1号 Page252-258	久場良也、照屋孝二、平良直也、嘉川春生、須加原一博(琉球大学医学部麻酔科)、久木田一朗(琉球大学医学部救急
硬膜外自家血パッチが有効であった特発性低髄圧症候群の一例	沖縄医学会雑誌	2006.11) 0911-5897)45巻2号 Page42-44	久場良也、照屋孝二、末吉健次

《放射線科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
腹部CTにおける体系別撮影線量マニュアルの作成	平成18年度 沖縄放射線技師会学術研究発表会	浦添市	2006年4月23日	池原義人
胃透視検査においてバリウム誤嚥後の対策と検討	平成18年度 沖縄放射線技師会学術研究発表会	浦添市	2006年4月23日	新垣弘扇
マンモグラフィ検診における医療サービスでの放射線科の取り組み	平成18年度 沖縄放射線技師会学術研究発表会	浦添市	2006年4月23日	久志麻利子
座長「透視･造影･防護」	平成18年度 沖縄放射線技師会学術研究発表会	浦添市	2006年4月23日	仲座義富
当院におけるNSTの活動状況 消化管疾患の症例提	第2回医療技術部勉強会	当院	2006年6月12日	山内隆広

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院におけるNSTの活動状況　胃透視における誤嚥対策	第2回医療技術部勉強会	当院	2006年6月12日	新垣弘扇
座長「症例から見た胃X線読影法」	沖縄銀杏会	北谷町	2006年6月24日	米須勇
急性腹症のCT画像	三派会勉強会	当院	2006年6月29日	中村弘之
Brilliance　64chの使用経験	64ch-CT導入記念講演会	那覇市	2006年7月28日	池原義人
一般演題の部	64ch-CT導入記念講演会	那覇市	2006年7月28日	宮城竜也
100ccバリウムを用いた検診でのUGI検査の可能性	第47回人間ドック学会学術大会	宜野湾市	2006年9月14日	宮城竜也, 石原悟, 米須勇, 山内隆広, 久志麻利子, 新垣弘扇, 知花千登勢
フィリップス社　Brilliance 64chの使用経験	沖縄県放射線技師会CT研究会	浦添市	2006年10月12日	与古田拡
糖尿病患者の画像所見について	第3回医療技術部勉強会	当院	2006年10月24日	石原悟
冠動脈3DCTAを目的とした64列MDCT導入後の実績と問題点	第1回九州放射線医療技術学術大会	福岡県	2006年11月4日	中村弘之
冠動脈CTの課題と対策	第13回 院内研究発表会	当院	2006年11月25日	与古田拡、池原義人、中村弘之、石原悟
準講師　沖縄県マンモグラフィ講習会	沖縄県マンモグラフィ技術講習会	那覇市	2007年2月3～4日	津波麻利子
教育講演	沖縄県放射線技師会CT研究会	那覇市	2007年2月9日	仲座義富
注腸検査（BE検査）における側面画像の検討	第19回日本消化器画像診断情報研究会	宮城県仙台市	2007年2月24日	知花千登勢
胃透視検査においてバリウム誤嚥後の対策と検討 ～放射線技師の対応～	第19回日本消化器画像診断情報研究会	宮城県仙台市	2007年2月24日	宮城竜也

《臨床検査科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ハートライフ病院におけるＮＳＴの活動状況	日本医療マネジメント学会沖縄地方会学術	沖縄市	2006年9月30日	具志堅喜則
MR-myelographyを契機に診断を得た特発性低髄圧症候群の1症例	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	島袋泰彦,瀬底田鶴子我如古靖,斉藤辰好,神谷乗敏,比嘉一
Ph陽性急性白血病の2症例	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	天願聖子,具志堅善則仲里幸康,平良直也, 仲地佐和子
当院におけるＮＳＴ活動の現状	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	具志堅善則,瀬底田鶴子,神谷乗敏,比嘉一廣

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
乳癌の骨盤転移の一症例	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	新垣由布子,仲松勝彦安里奈美,城間綾乃,斉藤辰好,神谷乗敏,比嘉一廣
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
同時重複癌の一例	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	比嘉一廣,城間学,比嘉一廣,喜友名正也,戸田隆義(琉球大学医学部検査部)
エコー検査が有用だった小腸GISTの症例	第13回 院内研究発表会	院内	2006年11月25日	斎藤辰好、神谷乗敏

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
【健康食品と臨床検査】 臨床検査業務の中の健康食品とのかかわり	臨床検査	2006.06) 0485-1420)50巻6号 Page655-660	神谷乗敏, 仲松勝彦, 津波克幸, 城間学, 今畑友理子, 瀬底田鶴子, 仲里幸康, 比嘉一廣

《薬局》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
疼痛コントロールに難渋した食道癌･多発骨転移の1例	第11回日本緩和医療学会総会	神戸	2006年6月22日	伊藤昌徳、中野久乃、上原利奈、天願初音、西銘宣子、友利健彦、西原実、奥島憲彦
抗がん剤治療に対する薬局の関わり	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	宮弘、江夏恭範、田中健嗣、伊藤昌徳

《臨床工学科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ICUにおけるCHF管理教育～看護師のCHF管理教育2年目を経過して～	第16回日本臨床工学会	神戸	2006年6月17日	新田淳、野原剛、比嘉明日香、大城安、仲地ますみ、久場
生食置換返血後の回路内生食処理法の検討～液抜きシステムの無い機器を用いて～	第51回日本透析医学会学術集会･総会	横浜	2006年6月24日	大城安、比嘉明日香、岡本洋和、荻堂満、新田淳、野原剛、嘉川春生

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院の業務内容について	第42回沖縄県技術交流会	宜野湾市	2006年9月10日	野原剛、新田淳、大城安
On-lineHDF評価～導入1年を経過して～	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	比嘉明日香、豊川真理、新田淳、大城敦、大
座長	第34回日本集中治療医学会学術集会	兵庫県	2007年3月1日	野原剛
座長	第25回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2007年3月18日	大城安

《栄養科》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病外来におけるセルフケア支援の取り組み　管理栄養士･健康運動指導士の資格を生かして	第49回日本糖尿病学会学術年次総会	東京都	2006年5月24日	久場徳子、新垣優子、玉那覇美幸、大城郁子、仲里幸康、山本壽一
精神疾患を持った2型糖尿病患者の栄養指導について	第44回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2006年10月12日	新垣優子、仲座道子、久場徳子、真栄城ゆかり、玉那覇美幸、久高恵、毛利貴子、門田純子、山本壽一
精神疾患を持った2型糖尿病患者への訪問栄養指導	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	新垣 優子、仲座道子、久場徳子、真栄城ゆかり、玉那覇美幸、久高恵、毛利貴子、山本壽一
診療報酬改定に伴うＮＳＴ･栄養科での取り組み	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	仲座道子

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
【食品交換表を生かす食事指導･食品交換表だけに頼らない食事指導】　食品交換表だけに頼らない食事指導の実際　自治癒力を高める個別化フードピラミッド　レポート4	糖尿病ケア	2006.08)　1348-9968)3巻8号 Page767-773	新垣優子
Brush Up！CDE　ワンランク上の糖尿病療養指導　個別化フードピラミッド法　2型糖尿病患者さんのため	糖尿病診療マスター	2006)　4(2),273-276	新垣優子

《内視鏡センター》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
経鼻内視鏡検査導入を試みて　アンケート調査による現状把握	第49回九州消化器内視鏡技師研究会	佐賀県	2006年6月3日	国仲ﾄﾓ子、仲宗根広政　下門幸子、翁長久乃宮城愛子、親川直美　　島袋和美、伊礼留美子、　新垣好美

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
経鼻内視鏡検査導入を試みて　―アンケート調査による現状把握―	第１３回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	仲宗根広政、下門幸子、翁長久乃、喜屋武香織、国仲ﾄﾓ子、宮城愛子、古波倉美登利、島袋和美、伊礼留美子、比嘉良夫、折田均、仲吉朝邦、宮里稔、佐久川廣、奥島憲

《メディカルサービスセンター》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当センター人間ﾄﾞｯｸにおける胃がん検診について	第61回日本消化器外科学会総会	横浜	2006/7/12～2006/7/15	比嘉昌文, 城間丈二, 洲鎌理知子, 比嘉良夫, 折田均, 宮里稔, 仲本学, 金城渚, 金城福則（琉球大学附属病院･光学医療診療
当センターにおけるフォローアップの現状　-第二報　紹介状の分析を通して-	第47回 日本人間ﾄﾞｯｸ学会	沖縄県（宜野湾市）	2006年9月14日	知花幸子、小橋川広美、平良亮子、比嘉光子、新垣好美、高宮江利子、伊佐智恵美、與那覇佳子、比嘉昌文
当センターにおける乳癌検診の現状とあり方	第47回 日本人間ﾄﾞｯｸ学会	沖縄県（宜野湾市）	2006年9月15日	久田まゆみ、川上国男、新垣さゆり、照屋ﾙﾘ子、島本秀美、松田優香、與那覇佳子、比嘉昌
当センターにおける乳癌検診の現状とあり方	第１３回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	久田まゆみ、川上国男、新垣さゆり、照屋ﾙﾘ子、島本秀美、松田優香、與那嶺佳子、比嘉昌

《糖尿病センター》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
フットチエックの集計報告第2報	第49回日本糖尿病学会学術年次総会	東京都	2006年5月25日	仲里幸康, 玉那覇美幸, 大城郁子, 毛利貴子, 山本壽一
座長「看護師の立場からみたSMBGの活かし方〔ケーススタディ〕このケースあなたならどうしますか？」	第2回九州・沖縄Active SMBG Seminar	長崎県	2006年7月9日	仲里幸康

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
フットケアーに関する患者の意識調査	第44回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2006年10月13日	久高恵, 玉那覇美幸, 仲里幸康, 門田純子, 毛利貴子, 山本壽一
簡易血糖測定器の画面表示に関する理解度調査	第44回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2006年10月13日	仲里幸康、玉那覇美幸、毛利貴子、山本壽一
簡易血糖自己測定がもたらす心理的負担	第41回九州医学検査学会	沖縄県	2006年11月3日	仲里幸康,神谷乗敏,比嘉一廣
CDEとしての活動報告(司会) 症例検討会（グループディスカッション）症例2	第1回九州DM検査セミナー	福岡県	2006年12月2日	仲里幸康

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著書
低血糖に対する患者さんの不安を知ろう 特集、患者さんを不安にさせない低血糖の予防と対	糖尿病ケア	2006） 3(6),542-546	大城郁子、玉那覇美幸

《西2F》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
母親学級テキスト作成にあたって	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	伊礼すまこ、谷口知子、徳盛京子、平屋敷加代、山川由美子、我那覇美帆、諸喜田久

《3F》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
創傷処置について ～患者の不安の軽減に向けて～	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	友寄喜美世、新垣聡子、當眞さゆり、折居明子

《4F》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
緩和ケアチームの活動報告Ⅱ	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	森 富江、中野久乃、東初美、平屋敷加代、新垣聡子、外間真紀子、上原利奈、上江洲晶、藤本寿賀子、木岡美幸、吉川いずみ、西銘宣子、奥島憲彦、友利健彦、平良直也、菅野善一朗、伊藤昌徳、野口直美、新垣優子、新城千尋、伊波花梨、松元直子、仲本
点滴事故改善策の取り組みについて	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	安里昌能、平良勇、間佐千代、上原利奈、城間絵梨花、山内昌美、多和田三由

《5F》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
小児の入院環境の充実に向けて	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	神谷 みどり、玉那覇いずみ、嶺井政美、中曾根寛子、仲井間貴子、宮城美那

《6F》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
造血幹細胞移植において口腔粘膜障害をきたした患者の一例～口腔内の保湿に注目したケアへの取り組	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	新垣 常美、松本利佳子、比嘉暢、山川智子、金城隆也

《7F》

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
内服薬トラブル防止策	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	糸洲 澄枝、翁長ひとみ、安里典子、久手堅政直、當銘たけみ、宮平典子

《ICU》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ICUにおけるNPPVの看護―勉強会を実施して―	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	徳森玲奈、具志堅源文、島袋すがこ、安里しの
災害時における挿管されたICU重症患者の搬送方法について	第33回日本集中治療医学会学術集会	神戸	2007年3月2日	崎浜節子、久保田祥子、豊元真里、具志堅源文、久場良也

論文･著書

演題名	雑誌名	掲載年･号･頁	著書
わたしたちの呼吸ケア向上計画　当院における呼吸療法認定士の活動について	呼吸器ケア	2006.05)　1347-7285)4巻5号 Page488-492	内間幸人

《救急外来》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
診察までの待ち時間短縮に向けて	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	新納好美、新盛智子、天谷ゆきこ、佐久田みゆき、仲地ますみ

《一般外来》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における禁煙外来の実際	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	岩本優子、仲元園子、林広江、新川栄子、中村正子、宮弘
外科外来における病名告知の意識調査	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	中野久乃、亀浜美代、石原桂子、山内美咲、登川啓子、奥島憲彦、西原実、友利健彦、宮平工、西垣大志、天願敬、石田友

《OR/CS》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
助手業務の見直しと定着に向けて	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	石川達志、下地幸子、与那嶺広美、渡名喜正美

《透析室》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
統合失調症のある透析患者のかかわりを通してI	第51回日本透析医学会学術集会総会	横浜	2006年6月23日	三留和美、松元直子、新里智、徳元里美、上間留美子、嘉川春
臓器提供･「ドナー発生」腎臓移植、角膜移植の経過報告	第１３回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	新里智、徳元里美、上間留子、嘉川春生
統合失調症のある透析患者のかかわりを通してⅡ	第39回九州人工透析研究会総会	大分	2006年11月26日	屋良淳子、松元直子、新里智、三留和美、嘉川春生
オンラインHDF開始1年を振り返って	第25回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2007年3月18日	崎山祐子、阿部裕見子、大城敦、新里智、嘉川春生

《診療情報管理室》

学会発表(H18年4月～H19年3月)

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
パネルディスカションのパネリスト「DPC導入、沖縄県内での対応･取り組みについて」	平成18年度日本診療情報管理機構沖縄地区勉強会	南風原	2006年5月27日	柳学、平良映子、田河美智代、山本亜矢子、真栄平久美子、宮平奈美子
DPC分析からみえる当の実状報告　～診療情報管理室の役割～	第13回院内研究発表会	当院	2006年11月25日	柳学、平良映子、田河美智代、山本亜矢子、真栄平久美子、宮平奈美子
講師　「ICD-10 第2章　新生物」	沖縄県診療情報管理研究会　第6回コーディング勉強会	南風原	2007年2月17日	宮平奈美子

編集委員　宮平 奈美子
柳 学

ハートライフ病院病院年報第13巻

平成19年12月

編集発行人　医療法人かりゆし会
ハートライフ病院編集委員会
〒901-2492
沖縄県中頭郡中城村字伊集208番地
TEL 098(895)3255 FAX 098(895)2534